

令和 3 年度

事業報告

公益社団法人日本歯科衛生士会

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

法人の概況

1 設立年月日

昭和26年10月27日(設立)

昭和41年5月23日(社団法人認可)

平成24年4月1日(公益社団法人移行)

2 定款に定める目的

本会は、都道府県歯科衛生士会との連携のもと、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚並びに歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を推進し、あわせて歯科衛生の普及啓発を図ることにより、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関すること
- (2) 日本歯科衛生学会の開催等学術研究の振興に関すること
- (3) 歯科衛生の普及啓発に関すること
- (4) 歯科衛生業務の改善及び向上に関すること
- (5) 歯科衛生の国際協力に関すること
- (6) 都道府県歯科衛生士会等、関係団体との連携協力に関すること
- (7) その他本会の目的達成のために必要なこと

4 行政庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

5 会員の状況

参考資料1に記載のとおり

6 事務所の所在地

東京都新宿区大久保二丁目11番19号

7 役員等に関する状況

参考資料2、参考資料3に記載のとおり

8 職員に関する事項

参考資料2に記載のとおり

事業

I 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚ならびに学術研究の振興により、歯科衛生士の人材育成を図り、国民の健康と福祉に寄与する事業（公1）

1 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関する事業

歯科医学・医療の進歩や歯科保健医療ニーズの変化にともなう知識・技能の習得及び医療安全等の最新情報に関する生涯研修事業の企画・運営・推進により、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚を図るとともに、特定の専門分野において水準の高い歯科衛生士を育成し、認定することにより、歯科衛生業務の実践・指導力を高め、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

(1) 生涯研修事業

① 専門研修の企画・運営・推進

ア 基本研修

47都道府県歯科衛生士会において、専門研修（基本研修）が483回開催され、19,073名（会員17,988名、会員外1,085名）が受講した。

・内訳

A 臨床研修コース

a 歯周治療の基本技術	76回	2,671名
b 摂食嚥下機能療法の基本技術	74回	3,369名

B リフレッシュコース（a～m, z）	165回	5,763名
---------------------	------	--------

C 特定コース

a 歯科診療所等における医療安全管理対策	27回	865名
b 周術期等の口腔機能管理	35回	1,658名
c 在宅歯科医療の基礎	106回	4,747名

（参考資料4）

【第24回感染症予防歯科衛生士講習会の開催】

日本歯科医師会・日本歯科衛生士会共催

日程①	オンライン研修（ライブ配信） 期 日 令和3年7月4日（日） 協 力 一般社団法人香川県歯科衛生士会 受講料 無料 受講者 118名（内訳 会員118名） 修了者 118名（内訳 会員118名）
日程②	ハイブリッド研修（7月4日の録画映像を配信） 会 場 いきいきプラザ島根 期 日 令和3年9月12日（日） 協 力 一般社団法人島根県歯科衛生士会 受講料 無料 受講者 119名（内訳 オンライン研修 会員97名 会員外2名 集合型研修 会員17名 会員外3名） 修了者 116名（内訳 オンライン研修 会員94名 会員外2名 集合型研修 会員17名 会員外3名）

研修内容

「新型コロナウイルス流行の情勢分析～」

自治医科大学附属病院 病院長補佐、感染制御部長／感染症科（兼任）科長
准教授 森澤 雄司

「院内の感染予防管理・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中で」

大阪大学歯学部附属病院 口腔総合診療部副部長・准教授 野崎 剛徳

「歯科における医療安全管理とリスクマネジメントの実践」

小田歯科医院 院長 小田 浩一

イ 特別研修

- ・第66回日本口腔外科学会総会・学術大会「第14回歯科衛生士研究会」「歯科・口腔外科看護研究会&歯科衛生士研究会合同発表会」の開催

(医療連携歯科衛生士委員会担当)

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、中止

上記の他、本会が主催・共催する特別研修には「日本歯科衛生学会学術大会」への参加、発表及び「日本歯科衛生学会 学会雑誌」への論文投稿等による学習を対象としている。第16回学術大会の参加登録者、発表者、学会雑誌(Vol.16 No1、No2)論文投稿者の合計は、1,348名であった。

- ・その他特別研修の指定

その他特別研修として、関連学会、関係団体等の申請に基づき 3項目を指定した。

その他特別研修による自己申請者67名

(参考資料6)

ウ 指定研修

指定研修課程の修了者による自己申請者 5名

(内訳) 4年制大学課程卒業 3名

大学院(修士・博士)課程修了 1名

専攻科及び病院等の臨床研修課程修了 1名

エ 専門研修修了者数(令和3年12月31日現在)

・基本研修 706名

・特別研修 97名

・指定研修 5名 合計808名

(参考資料5)

② 認定研修(認定歯科衛生士セミナー)の実施

【日本歯科衛生士会主催】

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、集合型を予定していたコースもすべてオンライン研修にて実施

ア 生活習慣病予防（特定保健指導－食生活改善指導担当者研修）

主 催	日本歯科衛生士会	
開催期日	9月4日（土）～10月3日（日）	オンデマンド配信
受講者	40名、修了者	37名
研修内容		
「健康づくり施策概論」	健康なまちづくり支援ネットワーク	岩永 俊博
「栄養指導」	株式会社リカバリータイムズ 管理栄養士	今井 愛
「健康教育」	十文字学園女子大学人間生活学部人間福祉学科 教授	吉田 亨
	ライオン株式会社人材開発センター健康サポート室 保健師	川本 和江
	鶴見大学歯学部 名誉教授	花田 信弘
	岡山済生会総合病院 看護外来室 慢性疾患看護専門看護師	佐藤真理子
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	国際医療福祉大学医学部教授・山王病院心療内科部長	村上 正人
	国際医療福祉大学医学部教授・成田病院心療内科	中尾 睦宏
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長	山本 晴義
「運動と基礎科学」	立命館大学スポーツ健康科学部 教授	村上 晴香
「研究討議 メタボリックシンドローム関連」	神奈川県立保健福祉大学 人間総合科・保健福祉学研究科 准教授	城川 美佳

イ 摂食嚥下リハビリテーション

主 催	日本歯科衛生士会	
開催期日	9月4日（土）～10月3日（日）	オンデマンド配信
受講者	40名、修了者	40名
研修内容		
「リハビリテーション総論」	足利赤十字病院リハビリテーション科 部長	馬場 尊
「リスクマネジメント・全身管理」	東京医科歯科大学 名誉教授	深山 治久
「栄養管理」	行徳総合病院リハビリテーション科	御子神由紀子
「摂食嚥下機能のメカニズム」	東京歯科大学解剖学講座	山本 将仁
「病態別摂食嚥下障害（小児の摂食嚥下障害）」	昭和大学 名誉教授	向井 美恵
「咬合および咀嚼機能の評価と管理」	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座 准教授	古屋 純一
「摂食嚥下の評価」	昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科診療科長・教授	高橋 浩二
「病態別摂食嚥下障害（中途障害の摂食嚥下障害）」	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長	菊谷 武
	国立国際医療センター リハビリテーション科 医長	藤谷 順子
「摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解」	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長	菊谷 武
「食事外部観察評価」	日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科	高橋 賢晃

「リスクマネジメント・呼吸管理と肺理学」	
「リスクマネジメント・経鼻吸引」	
藤田保健衛生大学病院 看護部 看護長	三鬼 達人
「摂食嚥下訓練」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	水上 美樹
〃	田中 祐子
昭和大学大学院保健医療学研究科	柴田 由美
昭和大学歯科病院 歯科衛生室	木村 有子
「問題解決力の実践」	
宮城高等歯科衛生士学院 教務主任	佐藤 陽子
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	水上 美樹
〃	田中 祐子

ウ 在宅療養指導・口腔機能管理

主 催	日本歯科衛生士会
開催期日	9月4日(土)～10月3日(日) オンデマンド配信 10月9日(土)、10月10日(日) ライブ配信
受講者	40名、修了者 40名
研修内容	
オンデマンド配信	
「超高齢社会の現状」	
大阪歯科大学 高齢者歯科学講座 教授	高橋 一也
「咬合と咀嚼」	
新潟大学大学院 教授	小野 高裕
「高齢者の全身疾患(評価と対応)」	
昭和大学歯学部高齢者歯科学講座 准教授	古屋 純一
「栄養サポート」	
鶴見大学 名誉教授	森戸 光彦
「口腔機能低下症」	
東京医科歯科大学 名誉教授	下山 和弘
「終末期への対応」	
医療法人永寿会 陵北病院 副院長	阪口 英夫
「医療と介護の連携」	
厚生労働省医政局歯科保健課歯科衛生係長	奥田 章子
医療法人永寿会 陵北病院 副院長	阪口 英夫
「実践例の紹介(プレゼンテーション)」	
横浜市緑福祉保健センター・認定歯科衛生士	岩崎 妙子
三ノ輪口腔ケアセンター・認定歯科衛生士	清水けふ子
ライブ配信	
「唾液」	
新潟大学大学院 教授	小野 高裕
「発音(構音)の諸器官・組織」	
「計測器を使った評価法」	
鶴見大学 名誉教授	森戸 光彦
「咬合と咀嚼の評価」	
鶴見大学 名誉教授	森戸 光彦
新潟大学大学院 教授	小野 高裕
「在宅療養者への歯科衛生士としての介入」	
医療法人永寿会 陵北病院 副院長	阪口 英夫
ヒューマンデンタルクリニック 院長	飯田 良平

【日本歯科衛生士会主催・歯科衛生士教育機関協力】

ア 糖尿病予防指導

主 催	日本歯科衛生士会	
協力教育機関	徳島大学歯学部	
開催期日	10月3日(日)～31日(日)	オンデマンド配信
	10月3日(日)、11月7日(日)	ライブ配信
受講者	40名、修了者 40名	
研修内容	オンデマンド配信	
	「ペリオドンタル・メディシン」	
	徳島大学大学院 口腔保健支援学 教授	尾崎 和美
	「糖尿病の基礎知識、糖尿病臨床の実際」	
	にしだわたる糖尿病内科クリニック 院長	西田 互
	「国民健康の疫学」	
	「歯科衛生士による保健指導」	
	徳島大学大学院 口腔機能管理学分野 教授	松山 美和
	「糖尿病と歯周病の関連性」	
	徳島大学大学院 歯周歯内治療学 教授	湯本 浩通
	「学校保健と糖尿病予防」	
	徳島大学大学院 口腔保健衛生学 教授	日野出大輔
	「地域歯科医療における糖尿病予防」	
	徳島県歯科医師会 常務理事	岡本 好史
	「糖尿病予防の指導と管理」	
	徳島市民病院 栄養管理室 室長補佐	松村 晃子
	徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科	出口 憲一
	徳島県歯科衛生士会 歯科衛生士	山口由美子
	「糖尿病予防の指導と管理」	
	川島病院看護部 看護師	小倉加代子
	大阪府歯科衛生士会 歯科衛生士	前田さおり
	「糖尿病療養管理の視点を予防に役立てる」	
	川島病院栄養管理室 管理栄養士	松浦 香織
	川島病院看護部 看護師	戸田 己記
ライブ配信	「アイスブレイク」	
	徳島大学大学院 口腔保健教育学 教授	伊賀 弘起
	「糖尿病とその予防で学習したいこと」	
	「成人歯科健康診査 生活歯援プログラム」	
	「シナリオに対する口腔保健指導プラン作成」	
	徳島大学大学院 口腔機能管理学分野 教授	松山 美和
	「教育講演 人生100年時代は歯医者さんへの定期通院から」	
	にしだわたる糖尿病内科クリニック 院長	西田 互

【日本歯科衛生士会主催・歯科衛生士教育機関委託】

ア 医科歯科連携・口腔機能管理

主 催	日本歯科衛生士会	
委託教育機関	東京歯科大学	
開催期日 前期	7月18日(日)～8月9日(月)	オンデマンド配信
後期	11月13日(土)～28日(日)	オンデマンド配信
	12月5日(日)	ライブ配信
受講者	22名	修了者 21名

研修内容	
オンデマンド配信（前期）	
「がん患者の周術期管理～外科の立場から～」 東京歯科大学 副学長 東京歯科大学市川総合病院 外科学講座 主任教授	松井 淳一
「病院における口腔機能管理に必要な基本的知識」 東京歯科大学水道橋病院 病院長 東京歯科大学口腔病態学講座 教授	片倉 朗
「脳卒中患者の口腔機能管理」 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 教授	松浦 信幸
「周術期口腔機能管理の制度（保険点数）」 東京歯科大学短期大学 学長	鳥山 佳則
「緩和ケア～認定看護師から」 東京歯科大学市川総合病院 看護部 緩和ケア認定看護師	並木瑠理江
「化学療法と有害事象～薬剤師の立場から」 東京歯科大学市川総合病院 臨床薬学科・薬剤部 教授	門田 佳子
「放射線療法と有害事象 ～医学物理士（放射線技師）の立場から」 東京歯科大学市川総合病院 放射線科 医学物理士	鈴木 祐也
「臨床研究の進め方」 東京歯科大学短期大学歯科衛生学科 教授	安松 啓子
オンデマンド配信（後期）	
「歯科・口腔外科外来での周術期口腔機能管理」 東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部 歯科衛生士	
「口腔がんセンターでの周術期口腔機能管理」 東京歯科大学 口腔がんセンター 歯科衛生士	小島 沙織
「栄養サポートチーム回診」 東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座 講師	酒井 克彦
「病棟での口腔管理」 東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部 歯科衛生士	
「シミュレータを用いた吸引実習」 東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 准教授	菅野 亜紀
東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部 主任歯科衛生士	大屋 朋子
「シミュレータを用いた呼吸音聴診実習」 東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 准教授	菅野 亜紀
東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部 主任歯科衛生士	大屋 朋子
ライブ配信	
「グループワーク（症例検討）」 東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座 教授	松浦 信幸
	助教 吉田 佳史
東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 准教授	菅野 亜紀
東京歯科大学市川総合病院コ・デンタル部 主任歯科衛生士	大屋 朋子

イ 歯科医療安全管理

主 催	日本歯科衛生士会
協力教育機関	広島大学歯学部
開 催 期 日	8月21日（土）～9月3日（金） オンデマンド配信 9月4日（土）、9月5日（日） ライブ配信
受講者	30名、修了者 30名
研修内容	
オンデマンド配信	

「感染予防対策総論」	広島大学大学院医系科学研究科 客員教授 下松デンタルアカデミー専門学校 学校長	栗原 英見
「歯科医療における標準予防策の具体的方法」		
「歯科医療の環境整備・医療廃棄物の取扱い」		
「歯科衛生士のリスクマネジメントプロセス」		
「口腔外科手術時の医療安全対策」	広島大学大学院医系科学研究科口腔健康科学科研究室 教授	太田 耕司
「歯科医療器具の洗浄、消毒、滅菌の総論」	広島感染防止及び滅菌業務研究会 会長	下前 恵
「病院、歯科診療所での感染予防対策の実際」	広島大学病院診療支援部管理室/歯科部門 副診療支援部長	中岡美由紀
「院内感染対策で重要な微生物」	広島大学大学院医系科学研究科 細菌学 研究室 教授	小松澤 均
「COVID-19の基礎知識と感染予防対策について」	広島大学病院歯系総合診療科 感染症科 教授	大毛 宏喜
「標準感染予防策の実際」	広島大学病院診療支援部管理室/歯科部門 副診療支援部長	中岡美由紀
	広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学的研究室 講師	松本 厚枝
「医療安全対策総論」		
「レジリエンス・エンジニアリングと医療安全」	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 教授	河口 浩之
「歯科衛生士が起こしやすいインシデントの対応予防策」		
「医薬品、医療機器の安全管理方法」	広島大学大学院医系科学研究科 歯周病態学 講座 教授	水野 智仁
「周術期口腔ケア、訪問診療の医療安全対策」	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 診療講師	西 裕美
「医療情報、個人情報管理と実際」	県立広島病院 歯科・口腔外科 部長	神田 拓
「歯科で起こりやすい患者急変時の対応と予防策」	広島大学大学院医系科学研究科 歯科麻酔学 研究室 助教	清水 慶隆
ライブ配信		
「臨床現場における医療安全（感染含）対策演習」	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 教授	河口 浩之
「感染防止対策に関する演習」	広島大学大学院医系科学研究科 歯周病態学 講座 教授	水野 智仁
「事例から学ぶ医療安全対策演習」	広島大学大学院医系科学研究科口腔健康科学科研究室 教授	太田 耕司

③ 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業

厚生労働省補助・日本歯科衛生士会主催

ア「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」オンライン方式での実施

開催回	開催日	実施本部	受講者数
第1回	令和3年11月27日(土)28日(日)	日本歯科衛生士会	24名
第2回	令和3年12月11日(土)12日(日)	日本歯科衛生士会	24名
第3回	令和4年1月15日(土)16日(日)	日本歯科衛生士会	21名
第4回	令和4年2月5日(土)6日(日)	日本歯科衛生士会	21名

プログラム

事前研修

- ・ショートエッセイ
- ・動画視聴
- ①カリキュラムプランニング（カリキュラムとは、目標編・方略編・評価編）
- ②雇用形態等の労働法規の仕組みについて
- ③組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方

講習会内容

S-VI	雇用形態等の労働法規の仕組み
S-VII	歯科医療従事者のスタッフトラブルを考える
S-VIII	組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方
S-IX	問題解決・問題点への対応「研修指導者・臨床実地指導者の役割」
S-X	地域で役立てるために
S-XI	本講習会を振り返って、まとめ、質疑応答

タスクフォース・講師等

(タスクフォース)

東京医科歯科大学名誉教授／日本歯科大学生命歯学部客員教授	俣木 志朗
日本大学松戸歯学部 歯科矯正学教授	葛西 一貴
東京歯科大学 社会歯科学講座教授	平田創一郎
東京医科歯科大学 統合教育機構准教授	
東京医科歯科大学大学院歯学教育システム評価額分野分野長	鶴田 潤
日本歯科衛生士会企画運営委員	
神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科	上原 弘美
東京医科歯科大学病院歯科衛生士総合研修センター	岡田 昌子
日本歯科大学東京短期大学	小森 朋栄
大阪歯科大学歯科衛生士研修センター	高田橋美幸
広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学	西村 瑠美
梅花女子大学看護保健学口腔保健学科	大川 直美
愛知学院大学短期大学部	
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター	高阪 利美

(講師)

厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐	奥田 章子
日本歯科大学附属病院 准教授	大澤 銀子
産業能率大学 経営学部教授	宮内ミナミ
フェニックス社労士事務所 所長	峯岸 陽子

イ「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業」運営協議会の開催

委員長 須田 英明（東京医科歯科大学名誉教授、東京医歯薬専門学校 学校長
日本医歯薬専門学校 学校長）

委員 俣木 志朗（東京医科歯科大学 名誉教授
日本歯科大学生命学部 客員教授）

小佐野みゆき（日本歯科医師会 理事）

品田佳世子（東京医科歯科大学歯病院科衛生士総合研修センター センター長
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 教授）

山本 一世（大阪歯科大学歯科衛生士研修センター センター長
大阪歯科大学歯学部 主任教授（副病院長））

内藤真理子（広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター 副センター長
広島大学歯学部口腔健康科学科口腔保健学 専攻長）

稲垣 幸司（愛知学院大学短期大学部 教授、
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター 所長）

高阪 利美 (愛知学院大学短期大学部 特任教授
愛知学院大学短期大学部 歯科衛生士リカレント研修センター副所長)

オブザーバー

高田 敦子 (厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐)
奥田 章子 (第1回まで 厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐)
宍戸 勇介 (第2回から 厚生労働省医政局歯科保健課 主査)
大沼 由季 (厚生労働省医政局歯科保健課)

開催日 ・第1回開催日時：令和3年10月29日(金)
・第2回開催日時：令和4年3月1日(火)

ウ 「歯科衛生士復職支援共通ガイドライン」及び「新人歯科衛生士技術支援共通ガイドライン」の作成(令和3年6月)

④ 認定歯科衛生士の認定・登録・更新

ア 特定する認定分野

認定分野A	生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)
	摂食嚥下リハビリテーション
	在宅療養指導・口腔機能管理
	糖尿病予防指導
	医科歯科連携・口腔機能管理
	歯科医療安全管理
認定分野B (専門学会との連携による認定)	障害者歯科 (専門審査機関：日本障害者歯科学会)
	老年歯科 (専門審査機関：日本老年歯科医学会)
	地域歯科保健 (専門審査機関：日本口腔衛生学会)
	口腔保健管理 (専門審査機関：日本口腔衛生学会)
	う蝕予防管理 (専門審査機関：日本歯科保存学会)
認定分野C	研修指導者・臨床実地指導者

イ 認定審査

認定歯科衛生士審査会(2回開催)

令和3年11月10日(認定分野B) 障害者歯科

令和4年2月5日(認定分野A) 生活習慣病予防、摂食嚥下リハビリテーション、在宅療養指導・口腔機能管理、糖尿病予防指導、医科歯科連携・口腔機能管理、歯科医療安全管理

(認定分野B) 老年歯科、地域歯科保健、口腔保健管理、う蝕予防管理

ウ 認定登録、認定証交付

認定分野		認定登録者	備考
認定分野A	生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)	36名	
	摂食嚥下リハビリテーション	41名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	39名	
	糖尿病予防指導	40名	
	医科歯科連携・口腔機能管理	21名	
	歯科医療安全管理	29名	

認定分野B	障害者歯科	34名	
	老年歯科	2名	
	地域歯科保健	3名	
	口腔保健管理	1名	
	う蝕予防管理	101名	
認定分野C	研修指導者・臨床実地指導者	32名	

(参考資料7)

エ 認定更新、認定証交付

認定分野		認定更新者数	備考
認定分野A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	29名	
	摂食嚥下リハビリテーション	74名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	161名	
	医科歯科連携・口腔機能管理	6名	
	糖尿病予防指導	27名	
認定分野B	障害者歯科	60名	
	老年歯科	13名	
	地域歯科保健	5名	
	口腔保健管理	6名	

⑤ その他生涯研修に関すること

第5次生涯研修制度実施要綱の一部改正

(2) 地域歯科衛生活動の指導者育成

① 歯科衛生推進フォーラムの開催

開催日	令和4年2月20日(日)		
開催方法	ライブ配信		
参加費	無料		
参加者	216名 (内訳 都道府県歯科衛生士会92名、自由参加者92名、関係者29名、報道3名)		
実施内容	<p>講演「歯科保健医療の動向」 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小椋 正之</p> <p>発表「地域歯科衛生活動」事業での取り組み</p> <p>①通所介護事業所での口腔機能向上加算算定導入支援事業 新潟県歯科衛生士会 柏崎ブロック 船岡 陽子</p> <p>②糖尿病患者への歯周病改善に向けた啓発事業 和歌山県歯科衛生士会 副会長 林 糸津香</p> <p>③高齢者のオーラルフレイル予防事業 一通いの場などで健康教育をするための歯科衛生士活用システム構築事業一 福岡県歯科衛生士会 専務理事 松永真理子</p>		

② 令和2年度地域歯科保健活動状況調査

全国47都道府県歯科衛生士会における令和2年度の地域歯科保健活動実施状況は、乳幼児、学童、成人、高齢者、要介護者、障害者等に対し9項目の事業を実施し、実施回数38,509回、歯科衛生士従者数(延)70,100人、地域住民参加者数(延)979,494人であった。本報告書は、都道府県歯科衛生士会及び関係者に配布し、ホームページに掲載した。

③ 医科歯科連携によるチーム医療の推進に関すること

- ・全国病院歯科衛生士連絡協機会の開催

医科歯科連携によるチーム医療において、とくに周術期等の口腔機能管理を中心として病院歯科衛生士への期待が高まってきている。そこで、病院歯科衛生士の資質の向上を図るとともに、病診連携の推進及び業務内容の充実を図ることを目的に開催した。

開催日	令和4年2月19日(土)
開催方法	ライブ配信
参加費	無料
参加者	61名(内訳 都道府県歯科衛生士会46名、関係者15名)
<p>実施内容</p> <p>講演 「新型コロナウイルス感銜睦が疑われる患者への歯科衛生士の対応」 がん感染症センター都立駒込病院 看護部 主任歯科衛生士 病院委員会委員 池上由美子</p> <p>ワークショップ テーマ「歯科衛生士による感染管理対策 ～地域で行う感染管理対策 研修会を開催するために出来ることは～」</p> <p>WS① 講演とBORのヒントから、「すぐ取り組めることは？」 WS② 「それに取り組む(実行する)ために準備することは？」 WS③ 「都道府県会で行う感染管理対策研修会を開催するために準備することは？」</p>	

- ・チーム医療推進協議会への参画

④ 歯科衛生推進に関する調査及びマニュアル作成等

- ・リーフレット「お薬とお口の関係 ドライマウス」の発行、配布
- ・各種マニュアル等、ホームページに掲載

⑤ その他歯科衛生の推進及び指導者育成に関すること

(3) 歯科衛生士の就業状況・意識等に関する調査

(4) 歯科衛生に関する国際協力

- ① 海外歯科衛生士の学術研究・関連情報の提供
- ② その他歯科衛生に関する国際協力

(5) 歯科衛生士の資質向上及び倫理の高揚に関すること

2 歯科衛生の学術研究の振興に関する事業

歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を図るため、学術大会を開催し、学会雑誌を発行する

ことにより、科学的根拠に基づく質の高い歯科衛生業務の実践を支援し、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

(1) 日本歯科衛生学会 第16回学術大会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、Web開催とした。

日 程	令和3年9月18日(土)～30日(木)
開催形式	Web開催(オンデマンド配信、研究討論会のみライブ配信)
メインテーマ	新しい日常を支える口腔健康管理
主催	日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会
共催	一般社団法人岩手県歯科衛生士会
後援	岩手県、盛岡市、一般社団法人岩手県歯科医師会
参加者数	総数 1,389名 (内訳) 学会員 1,219名 会員外 40名 学生会員 53名 学 生 42名 企業関係 16名 講師・招待者等 15名 報道関係 4名
商業展示	13社(リンクバナー展示)
企業協賛セミナー	4社
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演1 新しい日常を支える口腔健康管理ー歯科衛生士の独占業務と多職種連携ー 鶴見大学 名誉教授 花田 信弘 ・特別講演2 歯科衛生士が知っておくべきCOVID-19の知識 東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科 教授 寺嶋 毅 ・教育講演 歯科衛生士教育における臨床実習 東京歯科大学短期大学 学長 鳥山 佳則 ・リレー講演「災害歯科保健ー東日本大震災から10年間の実践とこれからの方向性ー」 講演1 東日本大震災における岩手県歯科衛生士会の災害歯科保健活動から学んだこと 一般社団法人岩手県歯科衛生士会 会長 晴山 婦美子 講演2 日本歯科衛生士会における災害歯科保健活動 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 久保山 裕子 講演3 災害歯科支援における歯科医師会の役割 日本歯科医師会 災害時・警察歯科総合検討会議委員 岩手県歯科医師会専務理事 大黒 英貴 講演4 全国統一された災害歯科保健体制の構築と、多職種との連携の重要性 東京医科歯科大学 中久木 康一 講演5 東日本大震災から10年間の研究からわかったこと 岩手医科大学歯学部口腔医学講座 教授 岸 光男 ・日本口腔衛生学会共同企画 歯科衛生研究の進め方ー抄録作成のポイントー 日本口腔衛生学会理事・日本大学歯学部 教授 尾崎 哲則 ・日本歯科保存学会共同企画 う蝕治療の夜明けー歯科衛生士が担う役割とはー 日本歯科保存学会常任理事・新潟大学大学院 教授 野杵 由一郎 ・県民フォーラム 歌声は世界を結ぶ 岩手県立不來方高等学校音楽部 顧問 村松 玲子 ・研究討論会 はじめよう! 歯科衛生研究ことはじめー日々の臨床の中でできる研究ー 日本歯科衛生学会編集委員会 松田 悠平、伊藤 奏 ・会員発表 口演発表30題、ポスター発表83題

(2) 日本歯科衛生学会雑誌の発行

Vol. 16 No. 1 令和3年8月10日発行 22,000部

No. 2 令和4年2月10日発行 22,300部

主な配布先

会員、文部科学省、厚生労働省、国会図書館、歯科大学図書館、歯科衛生士学校養成所、関連学会、関係団体等

医学中央雑誌収載誌に登録し、データベースに収録

(3) 学会運営会議等

- ① 学会運営協議会 (令和3年11月7日)
- ② 学会幹事会 (令和3年5月9日、7月2日、11月7日、
令和4年1月13～14日、3月1日)
- ③ 学術プログラム委員会 (令和3年11月7日)
- ④ 学術表彰選考委員会 (令和3年5月21日)
- ⑤ 学会委員会(企画委員会) (令和3年5月9日)
(編集委員会) (令和3年6月9日)
(総務委員会) (令和3年4月21日、5月6日、5月18日、10月3日)
- ⑥ 倫理審査委員会 (令和4年3月15日)

(4) 学術表彰

学術論文賞(優秀賞1名、奨励賞3名)

(5) 研究助成

国民の歯科口腔保健の推進に寄与し、歯科衛生業務の発展、向上の一助とすることを目的に、研究助成を行った。

- ・歯科衛生臨床研究助成1名(株式会社YDMの協賛)

(6) その他学会の目的達成に必要なこと

II 歯科衛生の普及啓発により、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業(公2)

1 歯科衛生の普及啓発及び広報に関する事業

(1) 歯科衛生だより(一般向け)の発行、配布(偶数月、年6回)

62号	令和3年4月1日発行、配布	発行部数	26,000部
63号	令和3年6月1日発行、配布	発行部数	26,100部
64号	令和3年8月1日発行、配布	発行部数	27,000部
65号	令和3年10月1日発行、配布	発行部数	28,100部
66号	令和3年12月1日発行、配布	発行部数	27,900部
67号	令和4年2月1日発行、配布	発行部数	28,000部

主な配布先

会員のほか都道府県、市区町村、全国図書館、社会福祉団体、歯科衛生士学校養成所、歯科大学、都道府県歯科衛生士会、関係団体等

(2) 学生だよりの発行、配布

49号 令和3年7月15日発行、配布 発行部数 21,100部

50号 令和4年1月15日発行、配布 発行部数 21,300部

主な配布先

歯科衛生士学校養成所の学生及び関係団体等

(3) 歯科衛生普及啓発用冊子等の発行、配布

(4) Webサイトによる歯科衛生情報等の配信

歯とお口の健康情報等

4月 「ウィズコロナは“4つの愛(i)”で乗り越えよう」

「飲み込む力を保ちましょう」

6月 「あなたの運動機能は維持されていますか？」

「ウイルス感染の防衛機能(免疫力)をアップさせる“唾液パワー”」

8月 「認知症の高齢者と義歯の適応、そして義歯卒業宣言」

「特に気をつけたい妊娠中のオーラルケア」

10月 「動物も歯が命」

「地域ではいろいろな職種が訪問しています」

12月 「新しい日常を支える口腔健康管理」

「マスクをしたままでできる！お口の体操」

2月 「“人は口から衰える”しかし“口から復活”する！」

「お口のケアが、新型コロナウイルスに負けない身体を作るための始まりです！」

Ⅲ 地域の歯科衛生活動を支援することにより、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公3）

(1) 地域歯科衛生活動への助成

地域における歯科口腔保健を推進するため、都道府県歯科衛生士会等が実施する地域歯科衛生活動を助成し、支援した。

本会の「地域歯科衛生活動」事業助成交付要綱に基づき、「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会において審査を行い、申請のあった10団体（北海道歯科衛生士会、青森県歯科衛生士会、岩手県歯科衛生士会、山形県歯科衛生士会、東京都歯科衛生士会、新潟県無菌科衛生士会、兵庫県歯科衛生士会、徳島県歯科衛生士会、福岡県歯科衛生士会、大分県歯科衛生士会）における各種・地域歯科衛生活動を助成した。

実施は、活動内容 10項目、実施日数 93日、実施人数 1,579人、実施施設（会場）22か所、活動に参加した歯科衛生士(延)231人、歯科医師(延)6人、その他の職種(延)60人であった。活動の実施状況は、順次「歯科衛生だより」に掲載し、紹介した。

(参考資料8)

(2) 災害歯科保健歯科衛生士の育成

ア 「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」の開催

災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士研修 (コーディネーター歯科衛生士育成)	
開催期日	令和3年12月5日(日)
開催形式	ライブ配信
参加者	都道府県歯科衛生士会災害歯科保健歯科衛生士 86名 役員、委員26名
<p>プログラム</p> <p>「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)の栄養・食生活支援活動と研修システムについて」</p> <p>公益社団法人日本栄養士会専務理事 下浦 佳之</p> <p>「平成29年九州北部豪雨災害時における歯科保健医療支援活動の舞台裏」</p> <p>筑紫歯科医師会医療管理理事、福岡県歯科医師会員 太田 秀人</p> <p>「都道府県歯科衛生士会が「災害歯科保健活動」に会員を派遣する上で必要なこと」</p> <p>福岡県歯科衛生士会専務理事 松永真理子</p>	

都道府県歯科衛生士会災害歯科保健業務調整(ロジスティクス)歯科衛生士研修 (ロジスティクス歯科衛生士育成)	
開催期日	令和3年12月5日(日)
開催形式	ライブ配信
参加者	都道府県歯科衛生士会災害歯科保健歯科衛生士 46名 役員、委員26名
<p>プログラム</p> <p>報告</p> <p>「先駆的な災害支援の取組み事例紹介」</p> <p>和歌山県歯科衛生士会、新潟県歯科衛生士会</p> <p>「災害時の連絡体制及び都道府県歯科衛生士会における災害の取組み調査報告」</p> <p>災害歯科保健委員会</p> <p>グループワーク</p> <p>テーマ「災害時のマネジメントに必要な活動～ロジの役割～」</p> <p>助言者 中久木 康一、太田 秀人、松永真理子</p>	

イ 災害歯科保健歯科衛生士(地域活動担当者)の育成

開催期日	令和3年10月6日(水)～31日(日)
開催形式	eラーニングの受講・登録
開催内容	<p>eラーニング プログラム</p> <p>「災害と支援の枠組み」</p> <p>「災害時の地域保健」</p> <p>「災害時の被災者の心理」</p> <p>国立保健医療科学院健康危機管理研究部(併任)生涯健康研究部 公衆衛生看護研究領域 上席主任研究官 奥田 博子</p> <p>「災害時の歯科の役割と変遷/災害支援における歯科衛生士の役割」</p> <p>「災害時の歯科口腔アセスメントの体系化/実際(地域)」</p> <p>「災害時の歯科口腔アセスメントの実際(個人)」</p> <p>「被災者の心情に配慮した歯科保健活動」</p> <p>「災害歯科保健活動における「食べる」支援」</p> <p>東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師 中久木康一</p> <p>「災害時の歯科衛生士の活動の実際」</p>

	「災害歯科保健活動における多職種との連携」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 久保山裕子
参加者	都道府県歯科衛生士会推薦者（参加費無料）
登録者	352名

- (3) 災害時歯科保健ネットワークシステムへの連携・参画等
日本歯科医師会「災害歯科保健医療連絡協議会」への参画、他

IV その他事業

1 都道府県歯科衛生士会及び地区との連携、及び会員管理等に関する事業（他1）

(1) 都道府県歯科衛生士会会長会の開催

日時 令和4年2月20日（日）

開催方法 ライブ配信

出席者 都道府県歯科衛生士会長 47名

関係者（役員） 26名

協議事項

- 令和4年度事業計画（案）の概要について
- 令和4年度の生涯研修・認定研修について
- 令和4年度「ブロック連絡協議会」実施要領について
- 「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業」について

報告事項

- 令和2年度「地域歯科保健活動実施状況調査報告」について
- 会員拡大・組織強化の取り組みについて
- 歯科衛生士賠償責任保険制度総合生活保険のご案内

(2) ブロック連絡協議会開催助成

ブロック	開催日時	開催場所・参加人数	内容	派遣役員
北海道・東北 (宮城県)	R3.10.17（日） 13:00～15:00	Web会議 19名	講演・情報提供 ・所信表明 ・歯科衛生士の専門性に関わること ・歯科衛生士の業務の見直しについて ・組織拡大に関すること 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美 ・令和3年度組織委員会の取組みについて 協議 コロナ禍における事業の運営状況と対応策について 情報交換 ①コロナ禍でのオーラルフレイル予防事業の取り組みについて ②Web開催の研修会について ③Web研修会開催時の参加費・資料・アンケートについて ④Web活用の研修会開催、Web研修会の会員受講環境について ⑤災害発生時の安否確認、連絡体制について	会長 吉田 直美 専務理事 河野 章江 理事 前沢 葉子

			⑥平時より行っている災害発生時の対策について 令和4年度北海道・東北ブロック担当県について	
関東信越 (神奈川県)	R3.9.25(土) 14:00~16:00	Web会議 36名	講演・情報提供 ・所信表明 ・歯科衛生士の専門性に関わること ・歯科衛生士の業務の見直しについて ・組織拡大に関すること 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美 ・令和3年度組織委員会の取組みについて 協議事項 ①「令和3年度関東信越ブロック連絡協議会テーマ」説明 ②昨年度の各県の活動状況アンケート結果報告 ③災害時安否確認方法について ④令和6年度の開催について	会長 吉田 直美 副会長 茂木 美保 理事 長谷 規子
東海北陸 (福井県)	R3.10.10(日) 13:00~15:00	Web会議 21名	講演・情報提供 ・所信表明 ・歯科衛生士の専門性に関わること ・歯科衛生士の業務の見直しについて ・組織拡大に関すること 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美 ・令和3年度組織委員会の取組みについて 質疑応答 事前提出資料「日本歯科衛生士会に対する質問・要望、意見」について 協議事項 ①コロナ禍での事業・研修会に関して ②災害関連について ③ブロック各県との情報交換	会長 吉田 直美 副会長 久保山裕子 理事 田中 千暁
近畿 (大阪府)	R3.11.14(日) 13:30~16:00	Web会議 23名	講演・情報提供 ・所信表明 ・歯科衛生士の専門性に関わること ・歯科衛生士の業務の見直しについて ・組織拡大に関すること 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美 ・令和3年度組織委員会の取組みについて 協議事項 ①近畿ブロック府県会負担金について ②助成金・負担金の用途(今後の使用方法)について ③近畿ブロックでの災害支援について 情報交換 ①コロナ禍での事業について 情報交換と対応策について ②府県市町村に対する要望について 要望書の提出先、その後の対応について ③事業における損害保険について ④Web研修開催について ⑤会員への情報提供などについて	会長 吉田 直美 専務理事 河野 章江 理事 村西加寿美
中国四国 (岡山県)	R3.11.6(土) 13:30~15:35	Web会議 21名	講演・情報提供 ・所信表明 ・歯科衛生士の専門性に関わること ・歯科衛生士の業務の見直しについて ・組織拡大に関すること	会長 吉田 直美 副会長 久保山裕子

			公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美 ・令和3年度組織委員会の取組みについて ・災害歯科保健歯科衛生士フォーラム、災害歯科保健歯科衛生士登録について等 情報交換 ①新型コロナウイルス感染拡大における 研修会開催の現状について ② Web 研修における事務手続き、研修会定員について 協議事項 ①令和2年度中国四国ブロック連絡協議会 収支決算書報告	理事 矢野加奈子
九州 (長崎県)	R3.10.30 (土) 14:00~17:00	Web会議 38名	講演・情報提供 ・所信表明 ・歯科衛生士の専門性に関わること ・歯科衛生士の業務の見直しについて ・組織拡大に関すること 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美 ・生涯研修について ・令和3年度組織委員会の取組みについて 協議事項 ①令和2年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について ②令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について ③次年度九州ブロック連絡協議会およびブロックフォーラム日程について ④ブロック内で協議を要する課題等について	会長 吉田 直美 副会長 久保山裕子 理事 下池 光

(3) 会員拡大・管理・育成に関すること

① 歯科衛生士だより会報の発行、配布

62号	令和3年4月1日発行、配布	発行部数	20,500部
63号	令和3年6月1日発行、配布	発行部数	20,600部
64号	令和3年8月1日発行、配布	発行部数	21,500部
65号	令和3年10月1日発行、配布	発行部数	22,600部
66号	令和3年12月1日発行、配布	発行部数	22,400部
67号	令和4年2月1日発行、配布	発行部数	22,500部

主な配布先 会員、関係団体等

② 会員証の発行、配布

③ 歯科衛生士手帳の発行

発行部数 22,400部

主な配布先 会員、関係団体等

④ 会員表彰

(正会員表彰) 功労賞 34名、永年精励賞 62名 (参考資料9)

⑤ その他会員拡大・管理・育成に必要なこと

- ・入会案内の作成・配布等
- ・災害時における会員の安否確認システム

(4) 歯科衛生士の人材確保・復職支援に関すること

- ① 歯科衛生士の復職支援・離職防止等に関する運営委員会（東京医科歯科大学、大阪歯科大学、広島大学）への参画
- ② 歯科衛生士復職支援対策連絡協議会（日本歯科医師会）への参画

2 会員の相互扶助に関すること（他2）

(1) 会員福祉規程に基づく死亡弔慰金、見舞金の給付

死亡弔慰金 10件、入院見舞金 44件、災害見舞金 2件

(2) 団体保険の紹介（傷害保険、賠償責任保険）

加入者

傷害保険 297人 賠償責任保険 2,006人（令和3年度 延人数）

V その他本会の目的達成のために必要なこと

(1) 関係省庁との連携・協力

(2) 関係団体との連携・協力

(3) 要望書提出

厚生労働省及び関係者等に「令和4年度予算・制度等に関する要望書」を提出した。

（参考資料10）

(4) 関係省庁、関係団体の役員、委員等

(一財) 歯科医療振興財団	理事	吉田 直美
	監事	松田 智子
	評議員	久保山裕子
(公財) 8020推進財団	理事	吉田 直美
(NPO) 日本歯周病学会	理事 (日本歯科衛生士会選出理事)	茂木 美保
(NPO) 日本歯科保存学会	理事 (日本歯科衛生士会選出理事)	立澤 敦子
(一財) 日本スポーツ歯科医学会	理事 (日本歯科衛生士会選出理事)	河野 章江
国際歯科衛生士連盟 (IFDH)	代議員	吉田 直美
	代議員	河野 章江
公益社団法人日本歯科医師会 災害歯科保健医療連絡協議会		久保山裕子
令和3年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分) 「認知症の状況に応じた高齢者の継続的な口腔機能管理に関する調査研究事業」 委員会 委員	会長	吉田 直美
厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会 歯科口腔保健の推進に関する専門委員会 委員	会長	吉田 直美
歯科医療提供体制等に関する検討会	委員	吉田 直美
「口腔保健に関する予防強化推進モデル事業 (歯科疾患の一次予防モデル事業の検証等)に係る調査研究等一式」検討会	委員	吉田 直美
歯科健康診査推進事業に係る調査研究等検討委員会	委員	吉田 直美
歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 検討会議	委員	吉田 直美

地方自治体等の歯科保健医療施策のための状況や各種取組等の把握・収集・分析及び情報提供の在り方検討委員会	委員	吉田 直美
日本在宅歯科医療・介護連携推進連絡協議会	委員	吉田 直美
JIMTEF 公益財団法人国際医療技術財団 災害医療委員会	委員	久保山裕子
(公財)ライオン歯科衛生研究所 評議員選定委員会	委員	河野 章江
歯科口腔保健の推進に係る歯周病対策ワーキンググループ	委員	茂木 美保
「歯周病予防に関する実証事業に係る調査研究等一式」検討委員会	委員	河野 章江
「歯周病の予防および治療法の更なる国民への周知」ビデオ作成に係る企画内容の検討委員会	委員	茂木 美保
一般社団法人日本歯科医学会連合 医療職連携委員会	委員	吉田 直美
一般社団法人日本歯科医学会連合 専門歯科衛生士制度検討ワーキンググループ	委員	吉田 直美
	委員	茂木 美保
	委員	吉田 幸恵
日本歯科医学会 歯科衛生士による診療補助としての局所麻酔に係る検討ワーキンググループ	委員	河野 章江
	委員	武藤 智美
医科歯科連携（オンライン診療）実証事業	委員	武藤 智美
母子保健推進会議 「8020 の里賞」	審査委員	小前みどり
(一社)日本歯科専門医機構 専門医申請学会評価認定委員会	委員	吉田 直美
新規専門医制度小委員会	委員	茂木 美保
I C Tを活用した歯科診療等に関する検討会	構成員	山口 朱見
チーム医療推進協議会	予備代議員	武藤 智美

(5) 加入団体及び後援協力事業

参考資料11に記載のとおり

VI 諸 会 議

1 代議員会

定時代議員会

日 時	令和3年 6 月13日 (日)
場 所	ステーションコンファレンス東京 605
会議の成立	代議員総数 88名
	出席代議員 83名
	(うち議決権行使73名、委任状提出2名)
	出席理事数 10名
	出席監事数 2名
	出席顧問、学会長数 3名
議 長	佐藤 祥子 (東京都)
副 議 長	高澤 みどり (千葉県)
議事録署名人	関口 晴子 (東京都)、富永 悦子 (埼玉県)

議 事	第 1 号議案	理事及び監事の選任に関する件
	第 2 号議案	令和 2 年度事業報告（案）に関する件
	第 3 号議案	令和 2 年度決算報告（案）に関する件
	第 4 号議案	会長候補者の選定に関する件

2 理 事 会

開 催 日	開催場所	出席者
(第 1 回) R 3. 5 . 2 3	日本歯科衛生士会会議室	理事 1 8 名、監事 2 名、顧問等 3 名
(臨 時) R 2. 6 . 1 3	ステーションコンファレンス東京 605	理事 1 0 名、監事 2 名、顧問等 3 名
(第 2 回) R 3. 7 . 1 1	日本歯科衛生士会会議室	理事 1 9 名、監事 2 名、顧問 2 名
(臨 時) 決議の省略 ※	—	
(第 3 回) R 3. 1 0 . 3	日本歯科衛生士会会議室	理事 2 0 名、監事 2 名、顧問等 3 名
(第 4 回) R 3. 1 2 . 4	日本歯科衛生士会会議室	理事 2 0 名、監事 2 名、顧問等 3 名
(第 5 回) R 4. 1 . 2 3	日本歯科衛生士会会議室	理事 2 0 名、監事 2 名、顧問等 3 名
(第 6 回) R 4. 3 . 1 3	日本歯科衛生士会会議室	理事 1 9 名、監事 2 名、顧問等 3 名

※ 臨時理事会は、「理事会の決議の目的である事項」について、定款第 3 7 条第 2 項の規定に基づき、代表理事（会長）から「決議の省略」を役員に提案し、理事全員の同意及び監事に異議がないことを確認し、理事会の決議があったものとみなされた。

議事内容

第 1 回理事会（令和 3 年 5 月 2 3 日）

- ・ 令和 2 年度事業報告（案）について
- ・ 令和 2 年度決算報告（案）について
- ・ 令和 2 年度特定費用準備資金等の積立について
- ・ 令和 2 年度事業報告に係る提出書（内閣府）について
- ・ 令和 3 年度定時代議員会議案の概要（代議員会運営規則第 2 条第 1 項第 7 号イ及び第 2 項関連）について
- ・ 令和 3 年度会長表彰について
- ・ 令和 3 年度「地域歯科衛生活動」助成事業（案）について
- ・ 「認定歯科衛生士の My Note」について
- ・ 第 6 6 回日本口腔外科学会総会・学術大会「第 1 4 回歯科衛生士研究会」について
- ・ 新入会員の承認について
- ・ 事務局長の交代について

臨時理事会（令和 3 年 6 月 1 3 日）

- ・ 代表理事の選定について
- ・ 業務執行理事（副会長、専務理事、常務理事）の選定及び理事の職務分掌について
- ・ 学会長の選任について
- ・ 関係団体等への出向役員、委員等について
- ・ 顧問の委嘱について
- ・ 学会顧問の委嘱について

第 2 回理事会（令和 3 年 7 月 1 1 日）

- ・ 令和 4 年度予算・制度等に関する要望について
- ・ 日本歯科専門医機構 専門医申請学会評価認定委員会について
- ・ 日本歯科専門医機構 新規専門医制度小委員会について

- ・公益社団法人日本歯科医師会 災害歯科保健医療連絡協議会委員について
- ・厚生労働科学研究費労働安全衛生総合研究事業「我が国における職域での歯科口腔保健を推進するための調査研究」について
- ・新人会員の承認について

第3回理事会（令和3年10月3日）

- ・令和3年度災害歯科保健歯科衛生士フォーラムの開催について
- ・令和3年度歯科衛生推進フォーラム及び都道府県歯科衛生士会会長会の開催について
- ・令和3年度歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者成研修事業について
- ・令和3年度全国病院歯科衛生士連絡協議会実施要領（案）について
- ・特別委員会「専門歯科衛生士制度検討会（仮称）」の設置について
- ・JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）への参画について
- ・厚生労働科学特別研究「歯科衛生士の業務内容の見直しに向けた研究」に対する研究協力ならびに研究協力者の推薦について
- ・第5次生涯研修制度「様式5 特別研修指定申請書」の修正案について
- ・委員の委嘱について
- ・終身会員の承認について
- ・新入会員の承認について
- ・歯科衛生士賠償責任保険制度（賠償責任保険、総合生活保険）の保険料改定について
- ・著作物の利用許可申請（案）について

臨時理事会（理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年10月29日）

- ・歯科医学教育者のためのワークショップの参加について

第4回理事会（令和3年12月4日）

- ・令和4年度ブロック連絡協議会実施要領（案）について
- ・令和4年度認定歯科衛生士セミナー実施計画（案）について
- ・令和4年度「地域歯科衛生活動」事業の助成について
- ・令和4年度事業計画の概要（案）について
- ・日本歯科衛生学会第18回（令和5年）学術大会開催担当都道府県会及び大会長について
- ・一般社団法人日本健康ライフデザイン機構への後援依頼について
- ・歯科衛生士損害賠償責任保険について
- ・新入会員の承認について

第5回理事会（令和4年1月23日）

- ・日本歯科衛生学会第17回学術大会ハイブリッド開催費用、参加費等について
- ・第25回感染症予防歯科衛生士講習会実施要領（案）について
- ・令和4年度職員給与について
- ・令和4年度各委員会の活動計画（案）について
- ・令和4年度事業言計画（案）について
- ・令和4年度収支予算（内訳書）案について
- ・チーム医療推進協議会および医療技術者団体協議会への対応について
- ・新入会員の承認について
- ・事務所の情報システムの更新について
- ・公益財団法人ライオン歯科衛生研究所評議員の委嘱について
- ・2021年度歯科衛生士の復職支援・離職防止等に関する運営協議会委員の委嘱について
- ・第5次生涯研修制度の一部改正について
- ・感染予防対策ガイドライン（案）について
- ・日本歯科衛生士会教育養成委員会作成教育指導教材に関する調査（案）について

- ・ 歯科衛生士養成校の日本歯科衛生士会への入会状況についての現状調査（案）について
- ・ 令和3年度地域歯科保健活動実施状況調査について
- ・ 令和4年度大規模災害発生時の連絡体制の見直しについて（改正案）
- ・ 認定歯科衛生士審査会委員の選任について
- ・ 新入会員の承認について

第6回理事会（令和4年3月13日）

- ・ 令和4年度事業計画（案）について
- ・ 令和4年度収支予算（案）について
- ・ 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・ 令和4年度定時代議員会開催（案）について
- ・ 委員の委嘱について
- ・ 規則・規程の一部改正（案）について
- ・ 新入会員の承認について

3 常務理事会

- 第1回 令和3年8月3日（火）
- 第2回 令和3年9月14日（火）
- 第3回 令和3年11月9日（火）
- 第4回 令和4年1月4日（火）
- 第5回 令和4年2月22日（火）

4 常任委員会・専門委員会

委員会名	開催日	
(常任委員会) 生涯研修委員会	第1回	令和3年4月10日
	第2回	7月17日
	第3回	9月11日
	第4回	令和4年1月10日
認定歯科衛生士委員会	第1回	令和3年4月29日
	第2回	5月31日
	第3回	7月18日
	第4回	11月23日
	第5回	令和4年1月10日
	第6回	2月6日
生涯研修部合同委員会	第1回	令和4年1月10日
歯科衛生推進委員会 病院委員会	第1回	令和3年9月22日
	第2回	10月15日
	第3回	11月12日
	第4回	12月15日
	第5回	令和4年1月7日
	第6回	1月22日
	第7回	2月14日
診療所委員会	第1回	令和3年7月22日
	第2回	9月23日
	第3回	10月30日
	第4回	12月17日
	第5回	令和4年1月26日

病院・診療所合同委員会	第1回	令和4年3月6日
地域歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和3年4月24日 6月27日 8月21日 10月17日 令和4年3月19日
教育養成委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和3年5月8日 7月31日 11月27日 令和4年2月26日
在宅・施設口腔健康管理委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	令和3年4月10日 6月26日 8月7日 10月9日 11月14日 12月25日 令和4年2月5日 3月5日
災害歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和3年4月3日 5月26日 8月9日 9月18日 10月23日 令和4年2月27日
広報委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和3年6月18日 8月19日 10月21日 12月21日 令和4年2月21日
国際協力委員会	第1回	令和3年8月8日
組織委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	令和3年5月23日 7月10日 8月21日 10月4日 11月20日 令和4年1月29日 3月12日
組織・災害歯科保健・地域歯科保健 合同委員会	第1回 第2回	令和3年11月28日 12月26日
表彰審査会	第1回 第2回 第3回	書面表決 令和3年4月23日～29日 9月17日 令和4年2月8日
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	第1回 第2回	令和3年12月5日 令和4年2月5日
「地域歯科衛生活動」助成事業 審査委員会	第1回	令和3年5月9日
(日本歯科衛生学会委員会等) 学会運営協議会	第1回	令和3年11月7日

学会幹事会	第1回	令和3年5月9日
	第2回	7月2日
	第3回	11月7日
	第4回	令和4年1月13日 ～14日
	第5回	令和4年3月1日
学術プログラム委員会	第1回	令和3年11月7日
学術表彰選考委員会	第1回	令和3年5月21日
学会委員会 企画委員会	第1回	令和3年5月9日
編集委員会	第1回	令和3年6月9日
総務委員会	第1回	令和3年4月21日
	第2回	5月6日
	第3回	5月18日
	第4回	10月3日
倫理審査委員会	第1回	令和4年3月15日

(参考資料3)

Ⅶ 監査

事業及び会計監査

第1回

開催日 令和3年5月14日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和2年度、令和3年2月～3月
出席者 渡邊監事、今村監事
上田副会長、河野専務理事、根岸常務理事
金澤顧問、松田顧問

第2回

開催日 令和3年9月10日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和3年4月～7月
出席者 渡邊監事、今村監事
吉田会長、河野専務理事、根岸常務理事

第3回

開催日 令和3年12月14日(火)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和3年8月～10月
出席者 渡邊監事、今村監事
吉田会長、茂木副会長、久保山副会長、河野専務理事
金澤顧問、松田顧問

第4回

開催日 令和4年2月18日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和3年11月～令和4年1月
出席者 渡邊監事、今村監事
吉田会長、河野専務理事、根岸常務理事
金澤顧問、松田顧問

参考資料 1

I 会員の状況

1 会 員 21,612名(社含む)

正 会 員 16,078名
 [正 会 員 15,994名
 正 会 員 (名誉会員) 4名
 正 会 員 (終身会員) 80名]

準 会 員 5,534名(社含む)
 [学 生 会 員 5,377名
 第 二 会 員 128名
 賛 助 会 員 29社]

名誉会員 (4名)

佐々木富美子 (大阪府)
 百束 雅子 (千葉県)
 小林キクイ (新潟県)
 金澤 紀子 (東京都)

終身会員 (80名)

北海道 3名、青森県 2名
 岩手県 1名、秋田県 2名
 山形県 1名、福島県 1名
 茨城県 3名、群馬県 1名
 埼玉県 2名、千葉県 6名
 東京都 7名、神奈川県 2名
 山梨県 1名、石川県 1名
 静岡県 1名、愛知県 3名
 三重県 1名、滋賀県 2名
 京都府 3名、大阪府 9名
 兵庫県 3名、和歌山県 1名
 鳥取県 2名、岡山県 4名
 広島県 5名、山口県 1名
 香川県 1名、愛媛県 3名
 福岡県 2名、熊本県 1名
 大分県 3名、鹿児島県 1名
 沖縄県 1名

物故会員 (12名)

宇田川 裕子 (島根県)
 小倉 夕カ (茨城県)
 堀 直子 (群馬県)
 石川 知恵子 (東京都)
 武井 典子 (東京都)
 田代 理恵 (福岡県)
 村上 光子 (福岡県)
 窪田 康花 (北海道)
 川崎 香代子 (大分県)
 山本 作恵 (長崎県)
 山本 芳江 (北海道)
 日笠 和美 (鳥取県)

正会員の都道府県会別内訳

都道府県	継続会員	新入会員	R4.3.31
北海道	580	29	609
青森県	118	4	122
岩手県	209	6	215
宮城県	186	16	202
秋田県	73	7	80
山形県	132	4	136
福島県	285	9	294
茨城県	236	8	244
栃木県	138	6	144
群馬県	318	15	333
埼玉県	410	18	428
千葉県	427	95	522
東京都	1,075	114	1,189
神奈川県	519	44	563
山梨県	124	4	128
長野県	417	50	467
新潟県	470	23	493
富山県	113	4	117
石川県	125	38	163
福井県	73	2	75
岐阜県	371	18	389
静岡県	470	22	492
愛知県	933	58	991
三重県	296	10	306
滋賀県	181	9	190
京都府	315	8	323
大阪府	949	53	1,002
兵庫県	1,128	134	1,262
奈良県	158	12	170
和歌山県	118	3	121
鳥取県	95	3	98
島根県	196	7	203
岡山県	289	7	296
広島県	425	21	446
山口県	183	47	230
徳島県	160	8	168
香川県	270	12	282
愛媛県	183	18	201
高知県	152	5	157
福岡県	576	44	620
佐賀県	139	8	147
長崎県	185	38	223
熊本県	466	41	507
大分県	214	3	217
宮崎県	74	6	80
鹿児島県	186	11	197
沖縄県	195	41	236
計	14,935	1,143	16,078

学生会員加入校および学生会員数

令和4年3月31日現在 111校

都道府県	加入数	学校名	1年	2年	3年	4年	大学院等	合計
北海道	1	小樽歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科	30	26	20			76
	2	帯広コア専門学校 歯科衛生士科	28					28
	3	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科		14	8			22
	4	札幌医学技術福祉歯科専門学校 歯科衛生士科			4			4
	5	札幌看護医療専門学校 歯科衛生士学科	44	28	14			86
	6	札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科			2			2
	7	北海道医療大学歯学部附属 歯科衛生士専門学校	3	3				6
	8	北海道歯科衛生士専門学校	33	7	1			41
	9	吉田学園医療歯科専門学校 歯科衛生学科	48	39	38			125
青森県	10	青森歯科医療専門学校 歯科衛生士科	2					2
岩手県	11	岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科		1	5			6
	12	盛岡医療福祉スポーツ専門学校		11				11
福島県	13	東北歯科専門学校 歯科衛生士科	1	1	31			33
	14	福島医療専門学校 歯科衛生士科	58	62	69			189
	15	福島県立総合衛生学院 歯科衛生学科			8			8
茨城県	16	茨城歯科専門学校 歯科衛生士科	52	48	47			147
	17	つくば歯科福祉専門学校 歯科衛生士科	17	19	20			56
	18	取手歯科衛生専門学校	46	33	34			113
栃木県	19	栃木県立衛生福祉大学校 歯科技術学部歯科衛生学科			24			24
群馬県	20	太田医療技術専門学校 歯科衛生学科			44			44
	21	中央医療歯科専門学校 太田校 歯科衛生士学科			25			25
	22	中央医療歯科専門学校 高崎校 歯科衛生士学科			37			37
埼玉県	23	葵メディカルアカデミー 歯科衛生科			32			32
千葉県	24	北原学院歯科衛生専門学校			126			126
	25	北原学院千葉歯科衛生専門学校			81			81
	26	千葉県立保健医療大学 健康科学部歯科衛生学科				4		4
東京都	27	新宿医療専門学校 歯科衛生学科	1	1	3			5
	28	太陽歯科衛生士専門学校	1					1
	29	東京医科歯科大学 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻		1	3	13		17
	30	東京歯科衛生専門学校	4	2	11			17
	31	東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科		1	50			51
	32	日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校	1		26			27
神奈川県	33	湘南歯科衛生士専門学校		49	50			99
	34	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校	45	48	39			132
	35	鶴見大学短期大学部 歯科衛生科			1			1
	36	横浜歯科医療専門学校 歯科衛生士学科	1		6			7
山梨県	37	山梨県歯科衛生専門学校			48			48

長野県	38	長野医療衛生専門学校 歯科衛生士学科			21			21
	39	長野県公衆衛生専門学校 歯科衛生士学科			20			20
	40	長野平青学園 歯科衛生士科			15			15
	41	松本歯科大学衛生学院 歯科衛生士学科			26			26
新潟県	42	明倫短期大学 歯科衛生士学科			31			31
富山県	43	富山歯科総合学院 歯科衛生士科			44			44
石川県	44	石川県歯科医師会立歯科医療専門学校 歯科衛生士科			60			60
岐阜県	45	朝日大学歯科衛生士専門学校			81			81
	46	大垣女子短期大学 歯科衛生学科			45			45
	47	岐阜県立衛生専門学校 歯科衛生学科			17			17
静岡県	48	中央医療健康大学校 歯科衛生学科			32			32
	49	中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科			33			33
	50	東海歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			30			30
	51	浜松歯科衛生士専門学校			44			44
愛知県	52	愛知学院大学短期大学部 専攻科					8	8
	53	慈恵歯科医療ファッション専門学校 歯科衛生士学科	35	30	26			91
	54	ナゴノ福祉歯科医療専門学校 歯科衛生士科			81			81
	55	名古屋医健スポーツ専門学校 歯科衛生科			33			33
	56	名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			26			26
	57	名古屋ユマニテク歯科衛生専門学校 歯科衛生学科			97			97
	58	三河歯科衛生専門学校			38			38
三重県	59	伊勢保健衛生専門学校 歯科衛生学科			26			26
	60	三重県立公衆衛生学院 歯科衛生学科			31			31
	61	ユマニテク医療福祉大学校 歯科衛生学科			22			22
滋賀県	62	滋賀県立総合保健専門学校 歯科衛生学科		2			2	
京都府	63	京都歯科医療技術専門学校 衛生士科			12			12
	64	京都文化医療専門学校 歯科衛生学科			1			1
大阪府	65	大阪歯科学院専門学校 歯科衛生士学科			53			53
	66	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科	3			8		11
	67	大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			69			69
	68	関西女子短期大学 歯科衛生学科	1	5	2			8
	69	堺歯科衛生士専門学校			31			31
	70	新大阪歯科衛生士専門学校	132	125	130			387
	71	太成学院大学歯科衛生専門学校	27	18	24			69
	72	なにわ歯科衛生専門学校			117			117
	73	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	1	5	4	5		15
	74	行岡医学技術専門学校 歯科衛生科	51	38	43			132
兵庫県	75	大手前短期大学 歯科衛生科		75				75
	76	神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科			17			17

兵庫県	77	姫路歯科衛生専門学校		41	36			77
	78	兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院 歯科衛生学科		64	83			147
	79	兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科		39	39			78
奈良県	80	奈良歯科衛生士専門学校			2			2
和歌山県	81	和歌山県歯科衛生士専門学校	40	32	30			102
鳥取県	82	鳥取県立歯科衛生専門学校			21			21
島根県	83	島根県歯科技術専門学校 歯科衛生士科	8	2	23			33
岡山県	84	朝日医療大学校 歯科衛生学科	33	50	50			133
	85	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校	61	33	30			124
広島県	86	広島高等歯科衛生士専門学校			53			53
	87	広島大学歯学部口腔健康科学科 口腔保健学専攻				20		20
徳島県	88	徳島穴吹カレッジ 歯科衛生士学科			20			20
	89	四国歯科衛生士学院専門学校			12			12
	90	徳島歯科学院専門学校 歯科衛生士科		27	19			46
	91	徳島大学歯学部口腔保健学科・大学院			15	15	5	35
	92	徳島文理大学 保健福祉学部 口腔保健学科				16		16
香川県	93	穴吹医療大学校 歯科衛生学科			27			27
	94	香川県歯科医療専門学校 衛生士科		33	45			78
愛媛県	95	河原医療大学校 歯科衛生学科	41	40	43			124
	96	河原医療大学校 新居浜校 歯科衛生学科	20					20
	97	松山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科		41	35			76
福岡県	98	九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科				4		4
	99	博多メディカル専門学校 歯科衛生士科		1	50			51
	100	福岡医健・スポーツ専門学校 歯科衛生士科			35			35
	101	福岡医療短期大学 歯科衛生学科	30		2			32
	102	福岡歯科衛生専門学校	5	4				9
佐賀県	103	佐賀歯科衛生専門学校	38	29	37			104
長崎県	104	九州文化学園歯科衛生士学院			31			31
	105	長崎歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			29			29
熊本県	106	熊本歯科技術専門学校 歯科衛生士科			35			35
大分県	107	大分歯科専門学校 歯科衛生士科			32			32
	108	藤華歯科衛生専門学校 歯科衛生学科		12	8			20
鹿児島県	109	鹿児島歯科学院専門学校 歯科衛生士科	1					1
	110	鹿児島医療福祉専門学校 歯科衛生学科			24			24
沖縄県	111	沖縄歯科衛生士学校			42			42
			942	1140	3197	85	13	5377

賛助会員名簿

令和4年3月31日現在

No.	会社名	住所
1	医歯薬出版株式会社	東京都文京区本駒込1-7-10
2	一世印刷株式会社	東京都新宿区下落合2-6-22
3	ウエルテック株式会社	大阪府大阪市北区豊崎3-19-3
4	有限会社佐々木広告社	東京都文京区本駒込1-11-5
5	サンスター株式会社	大阪府高槻市明田町7-1
6	株式会社ジーシー	東京都文京区本郷3-2-14
7	株式会社松風	京都府京都市東山区福稲上高松町11
8	昭和薬品化工株式会社	東京都中央区京橋2-17-11 三栄ビル別館4階
9	ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社コンシューマーカンパニー	東京都千代田区西神田3-5-2
10	ゾンネボード製薬株式会社	東京都八王子市散田町5-7-14
11	タカラベルモント株式会社	東京都港区赤坂7-1-19
12	株式会社ニッシン	東京都台東区雷門2-3-11
13	ヒューフレディ・ジャパン合同会社	東京都千代田区外神田6-13-10 プロステック秋葉原6F
14	株式会社モリタ	大阪府吹田市垂水町3-33-18
15	株式会社ヨシダ	東京都台東区上野7-6-9
16	ライオン歯科材株式会社	東京都墨田区本所1-3-7
17	株式会社YDM	東京都北区田端6-5-20
18	小林製薬株式会社	大阪府茨木市豊川1-30-3
19	株式会社グッピーズ	東京都新宿区西新宿1-25-1-13F
20	グラクソ・スミスクライン・コンシュー マー・ヘルスケア・ジャパン株式会社	東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR
21	株式会社クオキャリア	東京都豊島区南大塚3-46-3 いちご大塚ビル6F
22	P&Gジャパン合同会社	東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン15階
23	株式会社ジェイ・エム・エス	広島県広島市中区加古町12-17
24	株式会社クリニコ	東京都目黒区目黒4-4-22
25	日本歯科薬品株式会社	山口県下関市西入江町2-5
26	クロスフィールド株式会社	東京都墨田区江東橋1-3-6
27	長田電機工業株式会社	東京都品川区西五反田5-17-5
28	株式会社デンタルダイヤモンド社	東京都文京区本郷3-2-15 新興ビル
29	株式会社カンミ堂	東京都目黒区三田1-2-24 MT3ビル B1F

参考資料 2

II 理事、監事、代議員、顧問、職員

1 理事

会長	吉田 直美	
副会長	茂木 美保	(生涯研修、認定研修)
	久保山 裕子	(歯科衛生推進)
専務理事	河野 章江	(広報、国際、組織、総務、調査、指導者等講習会)
常務理事	根岸 麻理	(財務)
	武藤 智美	(病院・診療所、医療連携)
	浪岡多津子	(生涯研修)
	山口 朱見	(在宅・施設口腔健康管理)
	小前みどり	(地域歯科保健、災害歯科保健)
理事	石川 奈保美	(学会)
	島谷 和恵	(広報)
	須山 弘子	(認定研修)
	松本 厚枝	(学会)
	山田 小枝子	(教育養成)
	前沢 葉子	(組織)
	長谷 規子	(組織)
	田中 千暁	(組織)
	村西 加寿美	(組織)
	矢野 加奈子	(組織)
	下池 光	(組織)

2 監事

会員	渡邊 洋子
会員外	今村 敬

3 代議員 88名 別紙 代議員名簿のとおり

4 顧問

会員	金澤 紀子
会員	松田 智子
弁護士	宮武 洋吉
税理士	小林 広樹

5 学会顧問

東京医科歯科大学教授	木下 淳博
新潟大学名誉教授	宮崎 秀夫
東京歯科大学短期大学学長	鳥山 佳則

6 事務職員

事務局長	岡本 賢介
主任	鈴木 恵子
係員	柴崎 昌子、中川 恵美、新垣 利絵、増田 望、小林ノリヨ
パート職員	三本華余子 (週2日)

代 議 員 名 簿

(令和5年3月代議員選挙終了まで)

会 名	代 議 員	備 考	会 名	代 議 員	備 考
北海道	市 川 智 恵		愛知県	長 縄 弥 生	
	竹 内 聖 子			渡 邊 理 沙	
	宮 本 亜有美		三重県	笹 間 滋 代	
青森県	田名辺 裕 子			丹 羽 友 美	
岩手県	大 友 さつき		滋賀県	土 屋 奈 美	
宮城県	加 藤 みゆき		京都府	谷 内 妙 子	
秋田県	甫 仮 貴 子			橋 本 美 影	
山形県	小 野 淑 子		大阪府	郡 一 美	
福島県	玉 川 春 美			間 狩 みな子	
	和 田 嘉代子			品 田 和 子	
茨城県	岩 村 昌 子			山 口 千 里	
栃木県	中 村 美智子			米 田 裕 香	
群馬県	長谷川 万 里			兵庫県	高 橋 千 鶴
	青 木 和 美		澤 田 眞由美		
埼玉県	金 子 典 子		岩 崎 小百合		
	富 永 悦 子		石 井 美 和		
千葉県	時 田 一 枝		栗 原 知 子		
	高 澤 みどり		清 水 豊 子		
東京都	大 金 伸 子		奈良県	野 末 優 子	
	細 田 江美子			米 田 衣 代	
	関 口 晴 子		和歌山県	山 下 千 穂	
	藤 山 美 里		鳥取県	石 井 奈 美	
	佐 藤 祥 子		島根県	安 部 美智野	
	佐 藤 静 香		岡山県	杉 山 珠 美	
神奈川県	打 矢 純 子			三 浦 留 美	
	岡 本 香		広島県	相 見 礼 子	
	中向井 政 子			三 好 早 苗	
山梨県	永 井 鈴 美		山口県	金 子 郁 子	
長野県	宮 嶋 典 子		徳島県	河 野 美枝子	
	宮 澤 真 弓		香川県	木 戸 みどり	
新潟県	柴 田 佐都子		愛媛県	川 上 三 紀	
	薄 波 清 美		高知県	植 田 彩 子	
	山 崎 喜代子		福岡県	天 本 和 子	
富山県	山 田 尚 代			岩 男 好 恵	
石川県	須 貝 美 夏			松 永 真理子	
福井県	川 端 登代美		佐賀県	八 木 浩 子	
岐阜県	藤 井 重 子		長崎県	田 中 朝 子	
	奥 村 美 雪		熊本県	中 園 眞由美	
静岡県	大 川 晃 子			越 川 由 紀	
	佐 塚 真理子			中 村 加代子	
	森 野 智 子		大分県	有 松 ひとみ	
愛知県	金 森 いづみ		宮崎県	近 藤 泰 子	
	細久保 真理子		鹿児島県	下 川 真 弓	
	柴 田 享 子		沖縄県	野 田 直 美	

参考資料3

常任委員会等名簿

1) 常任委員会・専門委員会

令和4年3月31日現在

委員会名	委員名
(常任委員会) 生涯研修委員会	◎浪岡多津子(常務理事)、○横田 忍(大阪府)、佐藤 伸子(東京都)、 秋山 恭子(埼玉県)、尾形 祐己(大阪府)
認定歯科衛生士委員会	◎須山 弘子(理事)、○水上 美樹(東京都)、小山 圭子(東京都)、 深川 優子(東京都)、青柳三千代(東京都)、清水けふ子(埼玉県)、 金子 信子(大阪府)、小田 奈央(東京都)、柴田 享子(愛知県)、 田中 祐子(東京都)、柴田 由美(東京都)、大屋 朋子(千葉県)、 中岡美由紀(広島県)
認定歯科衛生士審査会	秋房 住郎(日本口腔衛生学会)、下山 和弘(日本老年歯科医学会) 那須 郁夫(日本老年歯科医学会)、井上 誠(日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 加賀谷 斉(日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 島村 和宏(日本障害者歯科学会)、立澤 敦子(日本歯科衛生学会) 大久保喜恵子(埼玉県)、橋場 佳子(大阪府)
歯科衛生推進委員会 病院委員会	◎武藤 智美(常務理事)、山本 伸子(滋賀県)、池上由美子(東京都) 古川由美子(熊本県)、石井 美和(兵庫県)、大屋 朋子(千葉県)
診療所委員会	◎武藤 智美、○小林 明子(東京都)、小森 朋栄(東京都) 渡邊 奈菜(静岡県)、岩男 好恵(福岡県)、塩浦 有紀(東京都)
地域歯科保健委員会	◎小前みどり(常務理事)、○安部美智野(島根県)、長 優子(東京都)、 中村 恵奈(愛知県)、玉川 春美(福島県)、楠田 美佳(熊本県)
教育養成委員会	◎山田小枝子(理事)、菅野 亜紀(東京都)、鈴木 瞳(東京都) 諏訪間加奈(新潟県)、関口 洋子(東京都)、安井真奈美(岐阜県)
在宅・施設口腔健康 管理委員会	◎山口 朱見(常務理事)、佐藤 奈美(山形県)、○篠原 弓月(東京都)、 松尾 由佳(奈良県)、原口 公子(福岡県)
災害歯科保健委員会	◎小前みどり(常務理事)、○水内 志穂(東京都)、宮脇恵美子(鹿児島県) 原口 公子(福岡県)
広報委員会	◎島谷 和恵(理事)、○伊藤眞知子(東京都)、麻生 智子(千葉県) 喜田さゆり(東京都)、北澤 浩美(東京都)、須永 昌代(東京都)
国際協力委員会	◎河野 章江(専務理事)、○宮澤 絢子(東京都)、二宮 望(大阪府)、 竹之内 茜(東京都)、藤原 奈津美(徳島県)
組織委員会	◎村西加寿美、前沢 洋子、長谷 規子、田中 千暁、矢野加奈子、下池 光
選挙管理委員会	◎清田 法子(神奈川県) ○若月 恵美(山梨県) 持田 雄子(茨城県)、古市 玲子(群馬県)、福田 尚子(埼玉県) 尾谷 始子(千葉県)、石井 知子(東京都) 予備委員 竹中 京子(茨城県)、砂川 陽子(群馬県)、吉岡 典子(埼玉県) 植田佐知子(千葉県)、柳瀬 琴江(東京都)、佐野 孝子(神奈川県) 小林かおり(山梨県)
表彰審査会	◎大金 伸子(東京都)、加藤千鶴子(神奈川県)、重富 澄子(山口県) 高橋 千鶴(兵庫県)、○廣瀬加奈恵(埼玉県)
(専門委員会) 医療連携歯科衛生士委員会	武藤 智美(常務理事)、立澤 敦子(東京都)、石井 美和(兵庫県)
「地域歯科衛生活動」 助成事業審査委員会	小前みどり(常務理事)、立澤 敦子(東京都) 大島 克郎(日本歯科大学東京短期大学 教授)
指導者等講習会企画運 営委員会	松本 厚枝(理事)、小森 朋栄(東京都)、上原 弘美(兵庫県) 岡田 昌子(千葉県)、高田橋美幸(大阪府)、高阪 利美(愛知県) 西村 瑠美(広島県)、大川 直美(兵庫県)

◎委員長、○副委員長

2) 日本歯科衛生学会委員会等

委員会名	委員名
学会運営協議会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事) 晴山婦美子 (第16回学術大会長)、河野美枝子 (第17回学術大会長)
学会幹事会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事)
学術プログラム委員会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事) 河野美枝子 (第17回学術大会長)、(第17回実行委員長)
学術表彰選考委員会	木下 淳博 (顧問・東京医科歯科大学教授) 鳥山 佳則 (顧問・東京歯科大学短期大学学長) 宮崎 秀夫 (顧問・新潟大学名誉教授) 吉田 直美 (会長) 吉田 幸恵 (学会長)、河野 章江 (専務理事) 石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長) 畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事)
学会委員会 企画委員会	◎小倉 千幸 (幹事) ○山村有希子、岩隈 好恵、阿部 智美
編集委員会	◎畠中 能子 (副幹事長) ○麻賀多美代 (幹事)、○新井 恵、○伊藤 奏 菅野 亜紀、松田 悠平、藤原奈津美、西村 瑠美
総務委員会	◎川本 亜紀 (副幹事長) ○江口 貴子、山中 紗都
倫理審査委員会	◎今井 光枝 (幹事) ○星合 愛子、大川 由一、鳥山 佳則、関根 透、白石 泰夫、宮武 洋吉 鈴木 瞳、川野 亜希

◎委員長、○副委員長

参考資料4

令和3年度 第5次生涯研修制度 専門研修開催状況

	歯周治療の基本技術		摂食嚥下機能療法の基本技術		リフレッシュコース		歯科診療所等における医療安全管理対策		周術期等の口腔機能管理		在宅歯科医療の基礎		合計	
	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数
北海道	6	165	2	100	4	135	1	83	2	140	7	352	22	975
青森県	2	21	2	92	4	47	0	0	0	0	1	29	9	189
岩手県	0	0	0	0	2	68	0	0	0	0	1	31	3	99
宮城県	0	0	1	39	0	0	0	0	0	0	0	0	1	39
秋田県	0	0	0	0	3	54	0	0	0	0	0	0	3	54
山形県	0	0	0	0	4	59	0	0	0	0	2	33	6	92
福島県	0	0	1	34	0	0	1	29	0	0	0	0	2	63
茨城県	1	72	1	57	1	33	0	0	0	0	2	113	5	275
栃木県	1	41	0	0	1	56	0	0	2	171	0	0	4	268
群馬県	0	0	0	0	6	253	1	48	1	20	1	33	9	354
埼玉県	1	41	1	77	9	395	0	0	0	0	0	0	11	513
千葉県	0	0	0	0	6	233	0	0	0	0	4	150	10	383
東京都	4	92	4	203	9	316	1	15	1	66	2	167	21	859
神奈川県	0	0	2	134	7	243	1	58	0	0	4	253	14	688
山梨県	2	44	3	81	0	0	0	0	2	62	1	29	8	216
長野県	5	134	2	46	5	135	1	19	2	132	3	105	18	571
新潟県	1	33	2	50	4	121	2	77	0	0	1	16	10	297
富山県	0	0	1	26	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26
石川県	0	0	1	46	1	41	0	0	0	0	0	0	2	87
福井県	0	0	0	0	1	32	0	0	0	0	0	0	1	32
岐阜県	3	54	3	164	1	30	1	29	1	68	4	177	13	522
静岡県	1	49	1	67	2	93	0	0	0	0	3	184	7	393
愛知県	3	127	6	265	0	0	1	27	4	135	7	266	21	820
三重県	1	26	2	82	6	223	2	57	0	0	0	0	11	388
滋賀県	1	65	2	84	1	44	0	0	2	76	1	31	7	300
京都府	2	75	2	125	3	147	4	74	2	91	2	83	15	595
大阪府	3	188	6	498	10	659	0	0	1	29	6	503	26	1877
兵庫県	8	382	4	201	19	591	1	46	2	94	7	316	41	1630
奈良県	0	0	0	0	1	34	0	0	3	123	1	22	5	179
和歌山県	3	133	3	103	2	91	3	108	1	33	1	28	13	496
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	31	2	31
島根県	0	0	3	56	5	96	0	0	1	54	1	57	10	263
岡山県	2	44	7	132	8	230	3	53	2	54	4	68	26	581
広島県	5	191	1	77	8	242	0	0	1	26	3	178	18	714
山口県	2	44	1	48	1	19	0	0	0	0	1	21	5	132
徳島県	0	0	1	49	2	65	1	69	0	0	0	0	4	183
香川県	0	0	1	48	3	108	0	0	0	0	3	122	7	278
愛媛県	1	77	0	0	3	143	0	0	0	0	1	32	5	252
高知県	1	29	3	115	3	107	0	0	2	92	9	262	18	605
福岡県	0	0	1	107	3	107	0	0	2	164	8	645	14	1023
佐賀県	1	18	0	0	2	44	1	28	0	0	3	67	7	157
長崎県	1	79	0	0	3	96	0	0	0	0	2	49	6	224
熊本県	5	221	0	0	7	261	0	0	0	0	2	131	14	613
大分県	1	41	3	130	2	65	0	0	0	0	0	0	6	236
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	55	3	55
鹿児島県	5	140	1	33	2	39	2	45	0	0	1	38	11	295
沖縄県	4	45	0	0	1	8	0	0	1	28	2	70	8	151
合計	76	2,671	74	3,369	165	5,763	27	865	35	1,658	106	4,747	483	19,073

令和3年 第5次生涯研修制度 修了者数

R3.12.31

	(1) 基本研修						(2) 特別研修	(3) 指定研修	合 計
	歯周治療の 基本技術	摂食嚥下 機能療法の 基本技術	リフレッシュ コース	歯科診療所等 における医療 安全管理対策	周術期等の 口腔機能管理	在宅歯科医療 の基礎			
北海道	2	4	5	0	2	6	0	0	19
青森県	0	3	1	0	0	3	0	0	7
岩手県	2	0	4	0	0	0	5	0	11
宮城県	2	0	3	0	1	3	1	0	10
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	2	0	1	0	2	0	5
福島県	0	1	0	0	0	1	0	0	2
茨城県	1	1	6	0	1	3	0	0	12
栃木県	2	0	5	0	0	0	0	0	7
群馬県	1	2	8	4	0	5	0	1	21
埼玉県	5	3	10	0	0	0	1	0	19
千葉県	3	1	6	0	0	5	5	0	20
東京都	15	10	16	3	6	13	11	1	75
神奈川県	1	15	9	0	2	5	5	0	37
山梨県	3	3	1	0	0	8	0	0	15
長野県	2	0	6	0	0	6	1	0	15
新潟県	1	4	12	0	0	0	1	0	18
富山県	0	0	0	0	0	1	1	0	2
石川県	0	2	3	0	0	5	3	0	13
福井県	1	0	1	1	0	1	1	0	5
岐阜県	2	10	1	3	0	15	1	0	32
静岡県	2	1	1	0	2	10	5	0	21
愛知県	3	15	1	1	1	26	9	2	58
三重県	1	2	6	0	0	1	2	0	12
滋賀県	0	3	3	0	0	2	0	0	8
京都府	2	5	7	1	2	2	1	0	20
大阪府	2	10	13	2	5	23	11	1	67
兵庫県	5	4	33	0	0	7	11	0	60
奈良県	0	1	0	0	0	3	0	0	4
和歌山県	6	10	6	1	0	3	1	0	27
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	1	6	0	0	0	1	0	8
岡山県	0	1	4	2	0	4	3	0	14
広島県	3	2	12	0	0	10	0	0	27
山口県	1	0	0	0	0	2	1	0	4
徳島県	3	1	2	0	0	0	3	0	9
香川県	1	0	9	0	0	0	3	0	13
愛媛県	1	1	7	0	0	4	1	0	14
高知県	0	3	5	0	0	15	1	0	24
福岡県	4	2	5	1	5	14	1	0	32
佐賀県	0	0	0	0	0	1	0	0	1
長崎県	3	1	2	0	0	0	1	0	7
熊本県	1	1	3	0	0	6	1	0	12
大分県	1	0	0	0	0	2	2	0	5
宮崎県	0	0	2	0	0	0	1	0	3
鹿児島県	7	2	1	0	0	1	0	0	11
沖縄県	0	1	0	0	0	1	0	0	2
合 計	89	126	227	19	28	217	97	5	808

参考資料 6

特別研修指定研修会

- 1 広島大学歯学部 歯科衛生士教育研修センター
公開シンポジウム～地域でがん患者を支える口腔健康管理～
- 2 東京医科歯科大学歯科同窓会 C.D.E. (Continuing Dental Education)
- 3 大阪歯科大学歯科衛生士研修センター 2021 年度公開セミナー

参考資料7

令和3年度 認定歯科衛生士登録者名簿

【認定分野A】生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)

会 名	氏 名	会 名	氏 名	会 名	氏 名
北海道	金子ますみ	神奈川県	田中泰代	大阪府	田中有希子
栃木県	両角 恵美	山梨県	内田真弓	大阪府	花谷 早希子
埼玉県	竹谷沙織	長野県	佐々木浩美	奈良県	米田 衣代
千葉県	速水照美	岐阜県	山田小枝子	岡山県	辰巳 光世
東京都	小西かおり	静岡県	山越 陽子	香川県	矢吹恵美子
	清水 美歩	愛知県	塩崎洋子	福岡県	成行 稔子
	虎谷 知美		向坂直巳	福岡県	加島小百合
	石松順子		青木恵子	長崎県	島本 富世
	小森睦子	岩倉 由希	宮崎県	大塚 善美	
	大和田瑞希	滋賀県	長谷川 加奈	宮崎県	甲斐きくえ
鳴海広美	京都府	宇野 文	鹿児島県	戸敷眞美	
神奈川県	岡本 香	大阪府	出口智恵子	鹿児島県	山元 美礼

【認定分野A】摂食嚥下リハビリテーション

会 名	氏 名	会 名	氏 名	会 名	氏 名	
宮城県	山田 桂子	長野県	西村礼子	大阪府	出口 智秋	
栃木県	田嶋友香	石川県	藤山浩美		大阪府	伊吹都
	金子ひとみ	岐阜県	山本綾子		大阪府	森田江美子
群馬県	瀬下愛子	静岡県	小柳津 弘子	兵庫県	松田 梅香	
埼玉県	山崎弘美	愛知県	加知 美穂子	奈良県	永原桃	
	飯塚直美		神田明美	岡山県	坪井 千夏	
東京都	山本 綾		宮北裕子	広島県	中村安那	
	山中由美		田中知子		広島県	水戸周子
神奈川県	渡邊月子		平野 真実子	山口県	奥野奈々	
	越智 徳子	滋賀県	新 康子	福岡県	山岸眞由美	
	櫻井 里絵	溝井 敬子	福岡県	河野真由美		
山梨県	木藤 ひろみ	京都府	黒田伸子	大分県	藤田 峰子	
	加賀美正江		山川 香織	沖縄県	前仲 佐和	
	石原ひろ子		岡本美子			

【認定分野A】在宅療養指導・口腔機能管理

会 名	氏 名	会 名	氏 名	会 名	氏 名	
北海道	久米田 万里	東京都	中浜 恵	大阪府	今井 美季子	
青森県	石塚 育子		矢島秀子		大阪府	眞喜屋理恵
茨城県	古谷淳子		井上百世		大阪府	石塚千穂
	横須賀 有花		山口美帆	兵庫県	中村玲子	
群馬県	成田 幸子	岩谷まひる	兵庫県		米谷エリカ	
	飯沼 公子	佐竹明美	広島県	松本靖子		
埼玉県	関口千夏	山梨県		金丸亜弥	広島県	高尾 まゆみ
	大村 悦子	石川県	宮森 奈津代	福岡県	渡辺優子	
千葉県	程塚 美代	福井県	西 加年代		福岡県	立和名雅恵
	田中美佐子	静岡県	石野晶子	佐賀県	萩 由美	
三分一 恵里	平田典子		佐賀県		岩本 綾	
東京都	岡本和佳子		山田統子	大分県	大松淑子	
	竹山 菜穂子	愛知県	牧 優美	大分県	角久美	

【認定分野A】医科歯科連携・口腔機能管理

会 名	氏 名	会 名	氏 名	会 名	氏 名
北海道	中平瑤子	東京都	小林文子	大阪府	椿本さおり
宮城県	小野ゆかり		工藤美佑季		大阪府
埼玉県	白井真衣	神奈川県	赤松 知美	大阪府	尾形 祐己
東京都	田村 彩織	静岡県	浦田 智佳子	兵庫県	城越信子
	中村 まゆみ	愛知県	加藤典子	奈良県	鴻池智恵
	田中祐子		藤田 未来	岡山県	中山良子
	高澤理奈	大阪府	植田忍	福岡県	山口綾子

【認定分野A】糖尿病予防指導

会名	氏名
北海道	太田 繭子
青森県	木村 和子 道尻 紋佳
福島県	鈴木 律絵
群馬県	近藤 直子 勝見 佐知子
東京都	細田 江美子 亀田 麻未 室岡 仁美 樽見 心
神奈川県	辻上 博美
静岡県	戸崎 智恵
三重県	坂口 貴代美 日浦 美和

会名	氏名
滋賀県	和田 絵里子 谷 晶美
京都府	相原 直子
大阪府	藤田 真奈美 樋口 敦子 古賀 恵 板並 悠香 村井 亜希子
兵庫県	清水 由起子 破魔 幸枝 白藤 和子
奈良県	黒田 典代
岡山県	粕井 美里

会名	氏名
山口県	今田 千恵美
徳島県	丸崎 愛 清野 方子 山口 真理子 上田 甲奈
香川県	川畑 真理 岩本 充子
愛媛県	阪井 礼
高知県	石崎 百合
福岡県	安部 真由美
佐賀県	小部 素子
熊本県	元田 尚美
沖縄県	伊禮 美由紀

【認定分野A】歯科医療安全管理

会名	氏名
青森県	石田 菜穂子
岩手県	浪岡 多津子 千葉 茂美
宮城県	前沢 葉子
栃木県	中村 美智子
埼玉県	清水 絹江 廣瀬 加奈恵 久保 弘子
千葉県	山口 朱見 木澤 みゆき

会名	氏名
東京都	加藤 理子 平栗 いづみ
神奈川県	吉村 理恵
石川県	榎野 莉沙
岐阜県	栗原 洋美
大阪府	上田 ミユキ 松村 和子
兵庫県	森本 理恵
和歌山県	吉田 俊香
岡山県	戸田 貴美子

会名	氏名
広島県	仁井谷 善恵 檜原 路子 甲斐切 有紀子
愛媛県	三谷 幸子 北岡 千恵
福岡県	榊尾 富喜 小野 三保子
熊本県	松永 千恵
鹿児島県	田中 久子

【認定分野B】障害者歯科

会名	氏名
栃木県	小林 幸恵
群馬県	熊井 鈴子
埼玉県	原 真由美 富田 早央里
千葉県	青柳 翠
東京都	由利 啓子 若松 春菜 皆川 渚
神奈川県	橋本 富美 横山 滉介 平山 若葉 藤田 千紘

会名	氏名
新潟県	近藤 淳子 阿部 孝枝 森岡 沙耶香
富山県	大平 千尋 盛本 美悠
静岡県	木俣 敬子 松風 雅子
愛知県	鈴田 弓実 堀越 あゆみ
三重県	田中 玲子 一尾 智郁

会名	氏名
三重県	大久保 久美子
大阪府	岡野 悠貴 東田 敦美 原田 真希
兵庫県	烏野 明香 竹谷 史帆
広島県	渡真 由子
福岡県	浦邊 薫
佐賀県	寶亀 幸子
沖縄県	赤嶺 あきな 国吉 初枝

【認定分野B】老年歯科

会名	氏名
石川県	近藤 有希
愛知県	亀井 智子

【認定分野B】地域歯科保健

会名	氏名
千葉県	三分一 恵里
静岡県	藤田 美枝子
香川県	丸岡 三紗

【認定分野B】口腔保健管理

会名	氏名
神奈川県	石黒 梓

【認定分B】う蝕予防管理

会名	氏名
北海道	安部 英美
岩手県	芳賀 光
宮城県	梶原 貴子
	庄子 明美
福島県	高際加代子
	佐久間真紗美
埼玉県	鈴木 律絵
	古田 土珠恵
千葉県	平澤 一美
	遠藤 詳子
東京都	甲斐 寛子
	遠藤 佳奈
	鈴木 恵美
	松原こずえ
	細田 久子
	酒井 麻里
	佐藤 祥子
	鈴木 恵
	小林 理紗
	大嶋 依子
	豊島 由佳子
	松澤 澄枝
	赤間ひとみ
	篠崎 由季
	坂本奈津季
	永里 咲恵
	今村安芸子
	大迫 彩夏
	篠木 悠美
	栗野友梨子
植松 裕美	
林 香織	
室 葉月	
北田 英子	

会名	氏名
東京都	東谷 香里
	松本 文恵
	森 彩子
	平井 千晴
	佐藤なつき
	三宅 麻未
	高橋 由香
	重井 亜紀
	中向井政子
	茂木 みく
神奈川県	東 美咲
	小和田雅子
	鈴木美南子
	津ヶ谷りさ
	喜多 早紀
	谷戸 茜
	菅原 美咲
	渡邊真由美
	河内 恵美
	森崎 裕美
	莊司 琴
	武村花奈
	関端 麻美
	山本 歩実
	麻生 綾子
長野県	長瀬 昭子
	中島香奈子
	小池 桃子
新潟県	岩間 美樹
	藤升 泉
	高田 綾美
	生野 美絵
	齋藤 慕子
井川 愛	

会名	氏名
岐阜県	土藏 明奈
	藤田 莉早
	堀 十月
	近澤 沙耶
	宮崎 玲菜
	高橋 明里
	渡邊 友美
	水野 憲子
	北村 宏美
	作 陽子
愛知県	興梠 未希
	豊満 衣鯉
大阪府	増田 昌子
	藤田 優花
	板並 悠香
	秋山 遥
	吉川 美優
	安藤さやか
	橋本 小織
	本橋由似子
	吉川 祐子
	松山ゆきの
山本真由美	
兵庫県	田中 絹子
鳥取県	山中 舞子
	仲田 叙子
岡山県	小澤久美子
徳島県	高本佳那子
香川県	中山恵美子
福岡県	横井 敦子
宮崎県	柴戸あゆち
鹿児島県	久保田祥子
	村原 友紀

【認定分野C】研修指導者・臨床実地指導者

会名	氏名
青森県	日野口尚子
	阿保ひとみ
岩手県	戸田 康子
茨城県	持田 雄子
栃木県	中村美智子
東京都	坂口 由季
	小川 和恵
新潟県	近藤 淳子
	石澤 尚子
岐阜県	縄田 理佳
愛知県	高阪 利美

会名	氏名
愛知県	細久保真理子
	鈴木 佳美
三重県	谷川 紀子
滋賀県	田中 千暁
	日野 隆子
大阪府	村西加寿美
	高木 直美
	福岡 智子
	武藤 真琴
	間狩みな子
奈良県	吉福 美香

会名	氏名
兵庫県	大脇 利美
	高木 史恵
	熱田 直美
和歌山県	野村 カオル
広島県	市川稔奈子
福岡県	秋吉 知美
	寺松 順子
	中村 次代
沖縄県	塩飽るみ子
	仲程 尚子

参考資料8

令和3年度「地域歯科衛生活動」助成事業

No.	都道府県名	事業名	実施日数	実施人数 参加者数	実施施設 (会場)数 対象施設数	従事者数			その他内訳
						歯科衛生士	歯科医師	その他	
1	北海道 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 生涯を通じた口腔健康管理の推進ならびに歯科衛生士の職業PR事業	2	120	1	12	-	-	
2	青森県 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健事業 ・保育園、幼稚園の保護者に対する歯科保健アンケート調査事業 ・保育園児・保護者の歯科保健に関する普及啓発事業	2	364	2	29	-	-	
3	岩手県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に際しての通いの場における歯科衛生士の参画普及啓発事業	1	29	1	12	-	-	
4	山形県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健自立支援型ケア会議助言の充実に向けた支援事業	20	149	6	7	-	55	介護支援専門員 介護福祉士 看護師
5	東京都 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 都民向け公開講座 ウイルス感染症に関する基礎知識	1	83	1	10	1	-	
6	新潟県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健通所介護事業所での口腔機能向上加算算定導入支援事業	24	65	1	48	-	-	
7	兵庫県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 命を守る「災害時にいかに健口手帳」	2	97	2	16	-	-	
8	徳島県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 徳島県における歯科衛生士の離職防止・復職支援システムの構築	8	150	2	30	3	-	
9	福岡県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健高齢者のオーラルフレイル予防事業	11	362	3	32	-	-	
10	大分県 歯科衛生士会	(8)多職種連携・協同による歯科口腔保健・口腔ケア推進事業 地域包括ケアにおける社会資源としての口腔ケアステーション設置事業	22	160	3	35	2	5	
計			93	1579	22	延べ231	延べ 6	延べ60	

令和3年度日本歯科衛生士会会長表彰 受賞者

功 勞 賞

*会員歴30年以上、役員歴が日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会を併せて10年以上ある者

武藤 智美 (北海道)	赤坂 幾子 (岩手県)	佐藤 則子 (山形県)
人見 裕美 (茨城県)	保坂 弥生子 (栃木県)	青木 和美 (群馬県)
寺澤 はるみ (埼玉県)	今井 光枝 (千葉県)	望月 直江 (山梨県)
田邊 千佳子 (新潟県)	太田 あつこ (長野県)	岩井 艶子 (富山県)
山越 智津子 (富山県)	石垣 敦子 (石川県)	宮腰 倫子 (石川県)
立木 美穂 (岐阜県)	縄田 理佳 (岐阜県)	池山 豊子 (愛知県)
磯部 好美 (愛知県)	舟橋 美千代 (愛知県)	井上 幸子 (滋賀県)
加川 裕子 (滋賀県)	中西 美幸 (滋賀県)	筒井 睦 (大阪府)
森本 多美子 (鳥取県)	中島 和子 (島根県)	浮田 瑞穂 (広島県)
長島 千秋 (徳島県)	森本 みどり (徳島県)	瀬戸 かおり (高知県)
青木 まゆみ (香川県)	久保山 裕子 (福岡県)	高林 文 (福岡県)
寺松 順子 (福岡県)		(34名)

永年精励賞

*会員歴35年以上であって、年齢65歳以上の者

佐々木 久子 (北海道)	堀川 かつえ (北海道)	遠藤 美恵子 (岩手県)
大向 志満子 (岩手県)	菅原 美佐子 (岩手県)	晴山 婦美子 (岩手県)
湊 みどり (岩手県)	村山 都々子 (岩手県)	山中 裕子 (岩手県)
小貫 早苗 (茨城県)	白戸 英子 (茨城県)	小林 美枝 (群馬県)
嶋田 みどり (群馬県)	松本 裕美 (群馬県)	田口 まゆみ (埼玉県)
田中 紀代子 (埼玉県)	田原 けい子 (埼玉県)	中馬 真理子 (埼玉県)
江下 加代子 (千葉県)	北田 つねこ (千葉県)	山崎 節子 (千葉県)
平野 智恵子 (長野県)	須野原 陽子 (石川県)	勝 尚代 (岐阜県)
田中 文子 (岐阜県)	伊東 きよみ (静岡県)	池山 豊子 (愛知県)
楠田 みち子 (愛知県)	三宅 やよい (愛知県)	大串 のり子 (滋賀県)
大塚 朋子 (滋賀県)	久保 仁美 (滋賀県)	上田 登美子 (京都府)
岡部 祐子 (京都府)	北村 万佐栄 (京都府)	立花 悦子 (京都府)
小川 景子 (大阪府)	角谷 久美代 (大阪府)	川上 智子 (大阪府)
菊池 かおる (大阪府)	小森 弥生 (大阪府)	頭山 高子 (大阪府)
内田 真弓 (兵庫県)	葛岡 正姫 (兵庫県)	田中 郁子 (和歌山県)
渡辺 美穂 (和歌山県)	田中 明子 (島根県)	野村 和子 (島根県)
小林 洋子 (岡山県)	原見 利枝子 (岡山県)	内海 悦子 (広島県)
西林 知里 (広島県)	天羽 美也子 (徳島県)	那賀川 明美 (徳島県)
藤原 妙子 (徳島県)	宮本 まさ子 (徳島県)	長瀧 美智子 (高知県)
竹尾 美都子 (愛媛県)	沖 多恵 (福岡県)	小川 千秋 (佐賀県)
安部 美佐子 (大分県)	小田 艶子 (大分県)	(62名)

令和4年度予算・制度などに関する要望について

公益社団法人日本歯科衛生士会

飛沫感染である新型コロナウイルス感染症への対応が始まってから1年半が経過しました。一時は歯科診療を中止するなどの歯科医療機関がありましたが、現在はほぼ通常の診療が行われています。しかし、今後の歯科保健医療提供体制においては、感染対策の効果とコストを考慮しつつ、新規の感染症へも対応できる感染防止対策を講じていく必要があります。

また、少子高齢社会の進展を踏まえ、地域包括ケアシステムにおける口腔健康管理の推進など、新たなニーズに対応した歯科保健医療提供体制の構築が求められています。さらに医科歯科連携や介護連携などの進展により、歯科衛生士業務の多様化・高度化が進み、専門性が高まっています。しかし、これらの役割に対応できる人材の育成や人材の確保が追いついていない現状にあります。今後の歯科保健医療提供体制において求められる業務の在り方を見据え、卒前卒後のシームレスな人材育成をはじめ、歯科衛生士免許登録者の活用基盤の強化などを含む人材確保対策のさらなる推進が必要です。

これらのことから、令和4年度予算案・制度などの編成にあたりましては、以下の6事項につきまして、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

要望事項

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関する事
2. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関する事
3. 歯科衛生士の臨床実践力の強化を目指した臨地実習(臨床実習を含む)の指導体制に関する事
4. 歯科衛生士の卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関する事
5. 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止など推進事業の継続と拡充に関する事
6. 歯科衛生士資格の活用基盤強化のためのマイナンバー登録制度の構築と研修履歴との連携に関する事

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関する事

(1) 回復期病院における「口腔健康管理」体制の整備

周術期等口腔機能管理の保険収載により、周術期の口腔機能管理の重要性が周知され、急性期病院における歯科衛生士の役割が広がりつつあります。しかし、回復期病院における口腔健康管理の位置づけはなく、歯科専門職が配置されている病院はごくわずかです。

回復期は心身ともに回復した状態で自宅や社会に戻ることを目的に日常生活動作を改善させるリハビリテーションを行います。しかし多くの患者に栄養状態を増悪させる口腔の要因(義歯不適合・口腔乾燥・歯の欠損・口腔衛生不良)があり、これらの症状を早期に発見し口腔環境を整える必要があります。口腔機能を回復することは栄養状態を改善し(Community Dent Oral Epidemiol. 2013 Apr;41(2):173-181)、リハビリテーションを進めることに役立ちます。しかし、回復期病院における口腔健康管理の位置づけがないために、口腔の問題が見過ごされ、口から食べることができないために自宅に戻れないということが生じています。このような状態を改善するため、回復期病院における口腔健康管理の提供体制を整備すると共に、歯科衛生士の役割を明記されるよう要望します。

2. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関すること

全世代を対象とした歯科口腔保健を推進するには、保健、医療、教育、労働衛生、社会福祉等の関連施策と有機的な連携を図り、総合的に展開することが求められています。また、住民への歯科口腔保健サービスの提供に際しては、市区町村が重要な役割を担っています。今後さらに、歯科口腔保健事業を効果的に推進する上で、行政における歯科衛生士の役割が重要であり、配置促進が求められます。

(1) 厚生労働省医政局歯科保健課への歯科衛生士の配置

歯科衛生士の就業者数は現在、132,635人(平成30年12月末現在、衛生行政報告例)です。毎年7千人前後の新人歯科衛生士が誕生し、現在、右肩上がりに増加しています。また、平成16年に歯科衛生士養成のための4年制大学が設置され、修士や博士などの学位を持った歯科衛生士が輩出されてきています。今後、国民の生涯を通じた歯科口腔保健を推進する上で、保健、医療、福祉等の多職種と連携した歯科衛生士の役割が重要であり、歯科保健課に専従歯科衛生士の配置を要望します。

(2) 行政に関わる歯科衛生士の配置促進

歯科衛生士が行う歯科保健指導は、エビデンスに基づいた口腔の健康の重要性に関わる適切な情報の提供やオーラルフレイル対策、疾病の重症化予防にもつながる歯科口腔保健の向上が不可欠となっています。これらの歯科口腔保健事業の展開は、歯科診療所をはじめ、全国のあらゆる地域で行われる必要があります。地域でスムーズに展開していくには、行政の歯科衛生士の役割が重要です。山本らによると常勤歯科衛生士が配置されている市区町村は配置されていないところと比べ、効果的な事業が1.3倍多く、

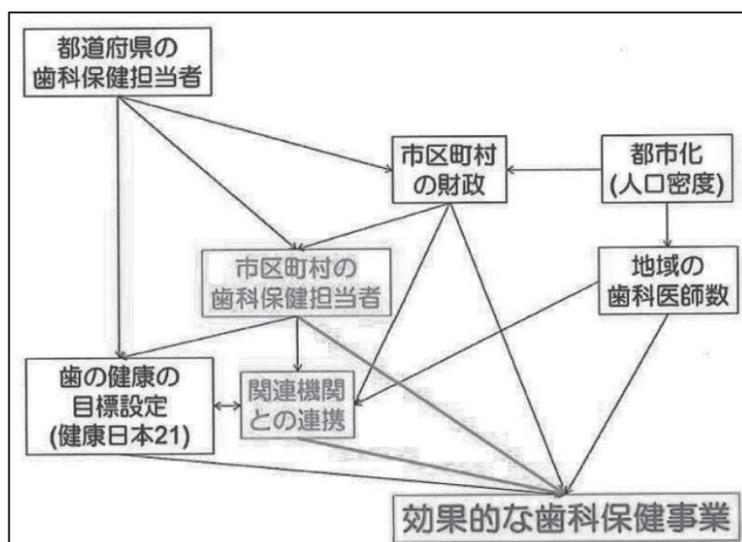


図:効果的な歯科保健事業と市区町村および都道府県の要員との関係の仮説と結果(山本龍生ら, 2015)

関連機関との連携で 7.3 倍であることが報告されています。しかし、行政に携わる常勤歯科衛生士は、市町村保健センター数 2,457 (R3.4 現在 000762007.pdf (mhlw.go.jp) と保健所数 591 (R3.4 現在 000765311.pdf (mhlw.go.jp)) を合わせて全国 3,048 施設に対して 699 人、割合は 23% です。政令市・特別区以外の市町村では、その歯科衛生士数は 299 人、割合は 12% です (平成 30 年度地域保健・健康増進事業報告の概況 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp))。このことから、市町村保健センター、保健所における歯科衛生士は、十分な数が配置されているとはいえません。また、口腔の健康の地域差を縮小するには、住民への歯科保健事業の企画・提供者である行政の役割が重要です。これらのことから、都道府県、保健所、市区町村に、歯科衛生士の配置を促進されるよう要望します。

3. 歯科衛生士の臨床実践力の強化を目指した臨地実習(臨床実習を含む)の指導体制に関すること

臨地実習(臨床実習含)は、歯科医療者が行う実践の中に学生が入り、歯科衛生士の立場で体験します。この学習プロセスでは、学内で学んだ知識・技術・態度の統合を図りつつ、歯科衛生士としての手技を修得します。卒業するとすぐに実践の場におく学生にとって臨地実習は不可欠なプロセスです。また、実践に不可欠な援助者としての人間関係形成能力や専門職種としての役割、責務を果たす能力は、患者と対峙し、自らが歯科衛生士として行動するプロセスで育まれます。従って、歯科衛生士の臨床実践力を培い強化するために実習は極めて重要ですが、臨地実習指導者で学習者への指導法や教育について学んでから実習指導に当たっている者はほとんどいないと考えられ、臨地実習の指導体制の構築は大きな課題です。

(1) 大学病院を併設する養成機関における病院歯科衛生士と教員との連携強化

歯科衛生士の実践能力を備えた歯科衛生士の育成には、臨地実習の充実が不可欠です。歯科衛生士の実践に関わる最新の知識・技術は極めて豊かになっており、これらの背景から、まずは、大学病院附帯の養成機関に勤務する教員と病院歯科衛生士との相互連携を図り、歯科衛生士の実践能力育成のための指導体制づくりの強化が必要です。

(2) 歯科衛生士の技術修練設備の活用 歯科衛生士の業務に必要となる身体侵襲を伴う技術の実施には、対象者への十分な配慮が大前提であり、習熟した歯科衛生士の指導が不可欠です。資格取得前の学生であっても、臨地実習において、条件を整え可能な限り実地で体験すべきものであり、一つ一つの技術に関し、学生の準備状況を確認し、個別指導することが重要で、この判断にも習熟した技術を要します。このため、臨地実習指導者は、自己のスキルレベルを客観的に評価した上で、臨床現場において学生の手本となり、学生へ教えるための知識・技能を学び、学生への実習の指導能力を高めることが必要です。そのため、歯科衛生士の新人・復職支援のために厚生労働省補助事業により設置された東京医科歯科大学、広島大学、大阪歯科大学、愛知学院大学などの技術修練の設備を臨地実習指導者の指導力を高める技術修練の場としても活用できるよう要望します。



図：厚生労働省補助事業による
歯科衛生士技術修練設備
(令和3年7月現在)

4. 歯科衛生士の卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関すること

将来にわたる歯科医療提供体制の安定的な確保を目的とし、歯科衛生士養成教育と歯科衛生士国家試験、歯科衛生士卒後研修との有機的な連携を図り、シームレスな歯科衛生士養成を実現することが重要です。

(1) モデルコアカリキュラム、モデルコアコンピテンシーの作成に関すること

歯科衛生士業務は急速に拡大していますが、現在の業務内容が明確に把握されておらず、教育内容へ十分に反映されているとはいえない状況です。歯科衛生士の質の確保のためには卒前教育の内容を充実させることが必須であり、歯科衛生学教育の充実・発展のためには、カリキュラム全体の検討が急務です。歯科衛生士の卒前教育には、専門学校3年制、短期大学3年制、他の国家資格と同時に教育される大学4年制、歯科衛生学単独で教育される大学4年制と様々な教育体制がとられていますが、教育の標準化のためにも関係者・関係団体により十分に吟味され作成されたコアカリキュラム、コアコンピテンシー(卒業時の実践能力)が必要です。

(2) 共用試験(CBT, OSCE)実施のためのシステムを構築すること

歯科医師においては、資格のない学生が患者に接して医行為を行いうる不可欠な要件として事前に学生の能力と適正を評価し、質を保証することが必要とされています。しかし、臨地実習で相対的医行為を行う歯科衛生士学生に対してはこうした仕組みがないまま現在に至っています。近年、歯科衛生士の業務は拡大し、周術期や終末期など全身状態が良好ではない患者を対象に処置を行うなど実践能力の質の保証が求められています。歯科医師のような卒後研修システムが十分に確立していない歯科衛生士の場合、卒前の臨床実習を充実させることがより必要です。またそのためには、臨床実習開始前に

習得すべき知識・技能・態度について全国的に一定水準を確保するための仕組みづくりが必要です。この水準の確保が新卒者の離職防止にも影響すると考えられます。

(3) 歯科衛生士国家試験基準を4年毎に見直し、現在の歯科衛生士の業務に即した出題とすること

年々、歯科衛生士の業務は拡大し、あらゆる場での活躍が求められています。このことは、歯科衛生士業務の変化を表し、変化に応じられるよう歯科衛生士国家試験基準は上記(1)(2)と関連付けて作成されること、また歯科医師国家試験出題基準と同じ4年毎に必ず見直すことや、業務に即した出題が求められます。

平成29年版歯科衛生士国家試験出題基準	平成29年3月31日発行
平成23年版歯科衛生士国家試験出題基準	平成23年3月31日発行



6年

図：国家試験出題基準の発行日の間隔

5. 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止など推進事業の継続と拡充に関すること

歯科衛生士の人材確保には、育児・介護等によって離職していた歯科衛生士の復職支援や 新人歯科衛生士に対する基本的な臨床実践能力の獲得と早期の離職防止を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による新人歯科衛生士への卒後フォローアップ研修が必要です。

(1) 「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」の継続の必要性

地域で中核を担う研修指導者や臨床実地指導者等の人材を育成するため、令和4年度においても厚生労働省「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続が必要です。特に卒業したばかりの新人歯科衛生士は、新型コロナウイルスの影響で養成機関において臨床実習がほとんどできていません。スキルに不安のある新人が非常に多く、研修指導者のスキル向上がより求められる状況になっているため、研修指導者の養成研修事業の継続を要望します。

(2) 「歯科衛生士の技術修練設備等の整備と運営事業」の継続の必要性

「歯科衛生士の技術修練設備等の整備と運営事業」では、現在4か所の技術修練が行える大学病院ができましたが、全国展開とはいいがたく、研修を望んでも通うことが難しい者がいると考えられます。このため、継続して技術修練の場の拡大と機会の提供が必要です。

(3) 復職支援相談窓口や総合的な復職支援体制の構築

復職支援対策には、人材登録・就業相談等の一体的な推進が必要です。就業条件について相談できるとともに、労務管理やマネジメントの知識を有する相談員の配置が求められます。また、免許保持者の潜在化を防止する対策及び求人・求職情報等に関するデータシステムの検討等の総合的な復職支援体制の整備が必要です。

6. 歯科衛生士資格の活用基盤強化のためのマイナンバー登録制度の構築と研修履歴との連携に関すること

復職希望の歯科衛生士の所在が不明であることから、求人活動を行いたい歯科医療機関が未就業歯科衛生士に対し、直接アプローチする方法がないことが課題になっています。また歯科衛生士の免許登録は、本人の申し出制のため、死亡後届け出がない者も登録者数に含まれ、現在、免許登録数は303,119人(令和3年5月31日現在、歯科医療振興財団調べ)で実状がわからないことも大きな課題です。このため免許登録制度とマイナンバーとの連携により免許登録制度ならびに研修および就業の支援体制の確立が必要です。

(1) 歯科衛生士の資格管理に関わる登録制度とマイナンバーの連携

歯科衛生士の登録制度では、死亡や失踪などがあっても申請をされなければ変更手続きが行われることはありません。よって、登録数が正確な数を捉えているとはいえない状況が続いています。歯科衛生士の数が正確に把握されていないことは、歯科保健医療を進めていく上で支障が生じかねません。マイナンバー法改正により、歯科衛生士の資格管理に関わる登録制度を整えることを要望します。

(2) (1)の連携による継続的な研鑽や就業の支援体制の強化を行う実効性がある体制の構築

歯科衛生士の離職原因のひとつに、スキルに対する自信のなさがあげられます。自信をもって働くには継続的な研鑽が必要です。そして再就業を望んでも自ら応募する勇気がなく、復職希望者がどこにいるかわからない現状では、復職支援が効果的効率的に行えず人材確保が困難な状況です。マイナンバーの連携による継続的な研鑽や就業の支援体制の強化を行う実効性がある体制を整えることを要望します。

要望事項

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関すること
 - (1) 回復期病院における「口腔健康管理」体制の整備
2. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関すること
 - (1) 厚生労働省医政局歯科保健課への歯科衛生士の配置
 - (2) 行政への歯科衛生士の配置促進
3. 歯科衛生士の臨床実践力の強化を目指した臨地実習(臨床実習を含む)の指導体制に関すること
 - (1) 大学病院を併設する養成機関における病院歯科衛生士と教員との連携強化
 - (2) 歯科衛生士の技術修練設備の活用
4. 歯科衛生士の卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関すること
 - (1) モデルコアカリキュラムモデルコアコンピテンシーの作成に関すること
 - (2) 共用試験(CBT, OSCE)実施のためのシステムを構築すること
 - (3) 歯科衛生士国家試験基準を4年毎に見直し、歯科衛生士業務に則した出題とすること
5. 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止など推進事業の継続と拡充に関すること
 - (1) 「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」の継続
 - (2) 「歯科衛生士の技術修練設備等の整備と運営事業」の継続
 - (3) 復職支援相談窓口や総合的な復職支援体制の構築
6. 歯科衛生士資格の活用基盤強化のためのマイナンバー登録制度の構築と研修履歴との連携に関すること
 - (1) 歯科衛生士の資格管理に関わる登録制度とマイナンバーの連携
 - (2) (1)の連携による継続的な研鑽や就業の支援体制の強化を行う実効性がある体制の構築

加入団体及び後援協力事業

加入団体

- ・公益財団法人 8020 推進財団
- ・一般社団法人 日本口腔衛生学会
- ・一般社団法人 日本公衆衛生学会
- ・日本歯科医療管理学会
- ・歯科保健医療国際協力協議会 (JAICOH)
- ・子どもの歯を守る会
- ・NPO 法人 日本フッ化物むし歯予防協会
- ・チーム医療推進協議会
- ・一般社団法人 日本歯学系学会協議会
- ・歯学系学会 社会保険委員会連合
- ・ジョイント 4 実行委員会
- ・社会歯科学会
- ・一般社団法人 医療安全全国共同行動
- ・健康日本 21 推進全国連絡協議会
- ・公益財団法人 国際医療技術財団
- ・一般社団法人 国際歯科医療安全機構
- ・国際歯科衛生士連盟 (IFDH)

後援、協力事業

21 世紀における国民健康づくり運動

歯と口の健康週間

令和 3 年度「医療安全推進週間」

第 79 回全国小学生歯みがき大会

令和 3 年度「健やか親子 21 - 8020 の里賞 - (ロツテ賞)」

第 85 回全国学校歯科保健研究大会

公益社団法人 日本歯科医師会 厚生労働省医療関係者研修費等補助金

災害医療チーム等養成支援事業「令和 3 年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業」

世界口腔保健学術大会記念「第 26 回口腔保健シンポジウム」

公益財団法人 8020 推進財団学術集会「第 19 回フォーラム 8020」

2022 ライオン歯科衛生研究所 予防歯科セミナー

その他の後援

公益法人 3 件 一般法人 4 件 大学 3 件 その他 8 件

